

平成25年度

事業年報

公益財団法人 岡山県健康づくり財団

はじめに

当財団は平成3年8月に設立されて以来、県民皆様の疾病予防や健康づくりを支援するとともに県や市町村の保健衛生、環境施策を補完する事業により地域に貢献することを目指して、健康診断事業をはじめ、各種環境検査事業、病院事業、健康づくり支援事業等に取り組んでまいりました。

この冊子は、当財団の平成25年度における事業内容の記録として作成したものであります。

ご高覧のうえご指導を賜りますとともに業務の参考としていただければ幸甚に存じます。

今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 石川 紘

目 次

I	事業内容	1
II	役員名簿	2
III	組織	3
1	組織図	3
2	職種別、組織別職員数	4
IV	事業報告	
1	保健部	5
(1)	住民健診	5
1.	特定健診・後期高齢者健診	5
2.	肝炎ウイルス検査	7
(2)	保健指導	8
(3)	一般健康診断	9
(4)	特殊健康診断	10
(5)	胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）	11
(6)	胃がん検診	15
(7)	子宮がん検診	18
(8)	乳がん検診	21
(9)	大腸がん検診	24
(10)	前立腺がん検診	27
(11)	骨粗鬆症検診	29
(12)	学校保健検査	30
1.	尿検査	30
2.	寄生虫検査	32
3.	貧血検査	34
4.	心臓検診	35
5.	小児生活習慣病予防健診	36
(13)	先天性代謝異常等検査	38
2	環境部	40
(1)	飲料水検査	40
(2)	簡易専用水道検査	42

(3) 浄化槽法定検査	4 4
(4) 産業排水検査	4 6
(5) 河川水検査	4 8
(6) 食品検査	5 0
(7) 腸内細菌検査等	5 2
(8) その他の検査	5 3
(9) 精度管理	5 5
3 食鳥検査事業	5 7
4 附属病院	6 0
(1) 外来状況	6 0
(2) 入院状況	6 1
(3) リハビリテーション	6 2
(4) 先進の医療機器による検査	6 2
(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供	6 2
(6) 地域連携の推進	6 3
(7) 結核医療連携拠点病院の指定	6 3
(8) 指導・相談	6 3
(9) 財団各部門との連携	6 4
(10) 難病相談・支援事業	6 4
5 南部健康づくりセンター	6 6
(1) 健康増進部門	6 6
1. ヘルスチェックの状況	6 6
2. 施設自由（フリー）利用状況	6 8
3. お手軽教室	6 9
4. 健康実践講座	7 1
(2) 教育・研修部門	7 6
1. 派遣事業	7 6
2. 図書資料室	7 7
3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室	7 7
4. 研究室の開放	7 8
(3) 調査・研究部門	7 8
1. 業績	7 8
(4) スポーツ医科学部門	7 9

1. 受診者数およびその内訳	79
(5) 健康診断（人間ドック）部門	80
1. 人間ドック	80
2. 脳ドック	84
3. らせんCT胸部検診	84
6 普及啓発事業	85
(1) 財団の広報	85
(2) 結核予防に関する事業	85
(3) がん予防に関する事業	86
(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）	87
(5) 「健康おかやま21」への参加	88
(6) 助成事業	88
(7) 会議等の開催	89

I 事業内容

- (1) 健康づくり及び結核、がん、循環器疾患等の予防に関する知識の普及啓発及び調査研究
- (2) 健康づくりの実践活動に対する指導及び援助
- (3) 結核、がん、生活習慣病等の健康診査
- (4) 保健及び医療に関する情報の収集及び提供
- (5) 保健医療従事者及び健康づくり指導者の養成及び研修
- (6) 結核及び呼吸器疾患を中心とする医療
- (7) 保健及び医療に関する臨床検査
- (8) 食品衛生に関する試験検査
- (9) 浄化槽法定検査事業
- (10) 飲料水水質の試験検査
- (11) 簡易専用水道検査事業
- (12) 環境計量証明事業
- (13) その他生活環境の保全に関する試験検査
- (14) 食鳥検査事業
- (15) その他財団の目的を達成するために必要な事業

Ⅱ 役員名簿

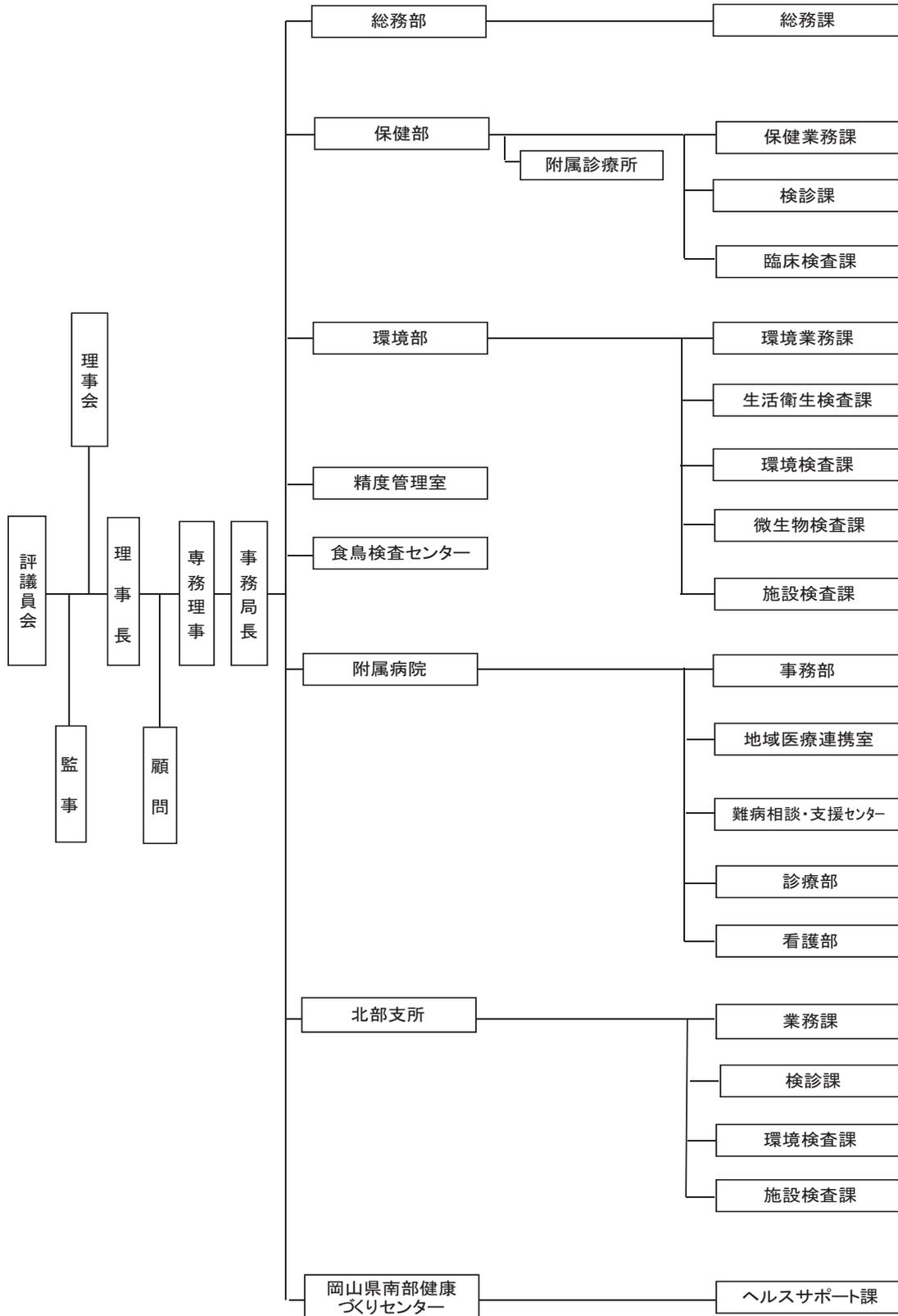
平成25年4月1日現在

役職名	氏 名	備 考
評議員	伯 野 春 彦	岡山県保健福祉部長
〃	山 崎 善 久	岡山県医師会副会長
〃	小 出 尚 志	岡山県病院協会長
〃	是 澤 俊 輔	岡山市医師会長
〃	松 尾 直 光	津山市医師会長
〃	吉 野 正	岡山大学医学部長
〃	内 山 登	岡山県議会議長
〃	福 永 仁 夫	川崎医科大学長
〃	酒 井 昭 則	岡山県歯科医師会長
〃	加 藤 圭一郎	岡山県薬剤師会長
〃	黒 田 晋	玉野市長
〃	重 森 計 己	元岡山県町村会長
〃	藤 本 貴 子	岡山県愛育委員連合会長
〃	杉 本 睦 子	岡山県栄養改善協議会長
理事長 (代表理事)	丹 羽 国 泰	岡山県医師会長
専務理事 (業務執行理事)	大 森 弘 介	岡山県健康づくり財団専務理事
理 事	阪 本 文 雄	山陽新聞社会事業団専務理事
〃	岡 崎 邦 泰	日本乳がん検診学会名誉会員
〃	森 惠 子	岡山県栄養士会長
〃	石 本 傳 江	岡山県看護協会長
〃	守 谷 欣 明	岡山県禁煙問題協議会長
〃	高 田 依 信	岡山県健康づくり財団環境部長
〃	西 井 研 治	岡山県健康づくり財団附属病院長
〃	沼 田 健 之	岡山県健康づくり財団保健部長 (兼)岡山県南部健康づくりセンター長
監 事	有 本 耕 平	弁護士
〃	小 川 洋 一	公認会計士・税理士

III 組織

1 組織図

平成25年4月1日現在



2 職種別・組織別職員数

平成25年4月1日現在

	事務職	医師	保健師・ 看護師・ 准看護師	放射線 技師	臨床 検査技師	理学 療法士	環境 検査技師	薬剤師	栄養士・ 調理員	介護職	運動 指導員等	食鳥 検査員	合 計
総務部	13												13
保健部	32	5	25	11	23	2		1					99
環境部	14				1		42						57
食鳥検査 センター	2						1					13	16
附属病院	13	5	45	1		2		2	11	14			93
北部支所	10		2	2	1		16						31
南部健康 づくりセ ンター	10	2	7	5	3				3		6		36
合 計	94	12	79	19	28	4	59	3	14	14	6	13	345

IV 事業報告

1 保健部

(1) 住民健診

1. 特定健診・後期高齢者健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病の予防

対象：特定健診：医療保険加入者で、実施年度中に40～75歳になる者
後期高齢者健診：76歳以上の者

補足)・対象年齢の誕生日以前等での振り分けは各市町によって異なる。

・医療保険加入者：国保加入者及び、被用者保険の被扶養者を対象として集計している。

2) 実施状況

13市町から委託を受け、17,725人の健診を実施し、前年度に比べ33人(0.19%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
特定健診	国保	14,430	13,666	12,989	12,672	12,149
	他健保	591	732	855	911	1,447
	その他	239	490	284	212	334
後期高齢者健診		4,270	3,759	3,966	3,963	3,795
計		19,530	18,647	18,094	17,758	17,725

② メタボリックシンドローム判定内訳(国保、他健保)

(人)

区分	性別	受診者数	メタボリックシンドローム判定結果内訳					
			該当		予備群		非該当	
国保	男性	5,195	1,081	20.8%	897	17.3%	3,217	61.9%
	女性	6,933	453	6.5%	404	5.8%	6,076	87.6%
他健保	男性	94	20	21.3%	15	16.0%	59	62.8%
	女性	1,474	80	5.4%	114	7.7%	1,280	86.8%
合計	男性	5,289	1,101	20.8%	912	17.2%	3,276	61.9%
	女性	8,407	533	6.3%	518	6.2%	7,356	87.5%
	計	13,696	1,634	11.9%	1,430	10.4%	10,632	77.6%

3) 健診方法

① 健診項目

・基本的な健診の項目

問診

身体計測 (身長、体重、腹囲、BMI、後期高齢者健診は腹囲なし)

理学的所見 (身体診察)

血圧 (収縮期血圧、拡張期血圧)

血中脂質検査 (中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール)

肝機能検査 (AST、ALT、 γ -GT)

血糖検査 (空腹時血糖、ヘモグロビンA1c、いずれかの項目の実施で可)

尿検査 (尿糖、尿蛋白)

・詳細な健診の項目 (医師の判断による追加項目)

貧血検査 (赤血球数、血色素量、ハマトクリット値)

心電図検査

眼底検査

② メタボリックシンドロームの判定基準

・必須条件

腹囲： 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上

・以下のうち2つ以上が該当

血糖： 空腹時血糖 110 mg/dl 以上、随時の場合は HbA1c 6.0%以上

脂質： 中性脂肪 150 mg/dl 以上、または HDL-コレステロール 40 mg/dl 未満

血圧： 収縮期 130 mm Hg 以上、または 拡張期 85 mm Hg 以上

※ 脂質・血圧は、いずれかまたは両方

2. 肝炎ウイルス検査

1) 検査概要

目的： B型・C型肝炎から肝硬変・肝がん等に悪化するのを予防するため
(B型・C型肝炎の早期発見、早期治療)

対象： 当年度 40 歳になる者 (節目検診) 又は過去に受診したことがない者

2) 実施状況

12 市町から委託を受け実施した。

B型肝炎検査は、2,190 人の健診を実施し、前年度に比べ 228 人 (9.43%) の減少であった。

C型肝炎検査は、2,192 人の健診を実施し、前年度に比べ 227 人 (9.38%) の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
肝炎ウイルス検査	B型肝炎検査	855	738	1,498	2,418	2,190
	C型肝炎検査	855	737	1,494	2,419	2,192

② 陽性率

B型肝炎検査： 陽性者数は 4 人で、陽性率は 0.18% であった。

C型肝炎検査： 感染者数は 2 人で、感染率は 0.09% であった。

3) 検査方法

B型肝炎検査： HBs 抗原検査 (定性)

C型肝炎検査： 問診、HCV 抗体検査 (CLEIA 法)、HCV コア蛋白測定による HCV 抗原検査、HCV-RNA 定量検査

(2) 保健指導

1) 指導概要

目的： 対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるよう支援する

対象： 健康診断の結果、健康の保持に努める必要がある者
ただし、特定保健指導については医療保険者により、動機づけ支援または積極的支援に階層化された者

2) 実施状況

地域では 260 人の保健指導を実施し、前年度に比べ 126 人 (94.0%) の増加であった。

職域では 1,260 人の保健指導を実施し、前年度に比べ 203 人 (19.2%) の増加であった。

全体では前年度に比べ 329 人 (27.6%) の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	148	142	134	260
職域	1,147	1,024	1,057	1,260
計	1,295	1,166	1,191	1,520

② 年齢階層別実施状況

(人)

積極的支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	7	9	10	0	26
	女性	0	4	10	0	14
職域	男性	408	301	22	0	731
	女性	18	18	1	0	37
計		433	332	43	0	808

動機付け支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	5	5	56	50	116
	女性	2	6	63	33	104
職域	男性	212	147	13	0	372
	女性	58	57	5	0	120
計		277	215	137	83	712

その他保健指導		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
職域	男性	58	38	14	10	120
	女性	43	28	19	5	95
計		101	66	33	15	215

3) 指導方法

期間： 6 ヶ月間

支援： 面接 … 個別または 8 人以下のグループ

通信 … 手紙、メール、電話

4) メタボリックシンドローム予防セミナー 受講者 207 人

(3) 一般健康診断

1) 健診概要

目的： 事業所就業者の健康管理と疾病の早期発見

対象： 事業所就業者

2) 実施状況

66,391人の健診を実施し、前年度に比べ10,657人(19.1%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
実施人員	34,584	36,975	41,190	55,734	66,391

3) 健診方法

① 健診項目

労働安全衛生法で定める検査項目を基本としている。

② 健診区分

区分	時期	項目	備考
雇入れ時	雇入れ時	① 既往、業務歴の調査 ② 自覚症状	労働者の採用時に実施
一般	1年以内に1回	③ 身長、体重、BMI 腹囲、視力、聴力 ④ 胸部X線、喀痰 ⑤ 血圧、尿糖、尿蛋白 ⑥ 貧血検査 ⑦ 肝機能検査 ⑧ 血中脂質検査 ⑨ 血糖検査 ⑩ 心電図検査	④を除き特定業務従事者等は6ヶ月以内に1回

(4) 特殊健康診断

1) 健診概要

目的： 特定の有害業務に従事する就業者を対象とした健康管理
対象： 有害業務従事者

2) 実施状況

7,496人の健診を実施し、前年度に比べ1,237人（19.8%）の増加であった。

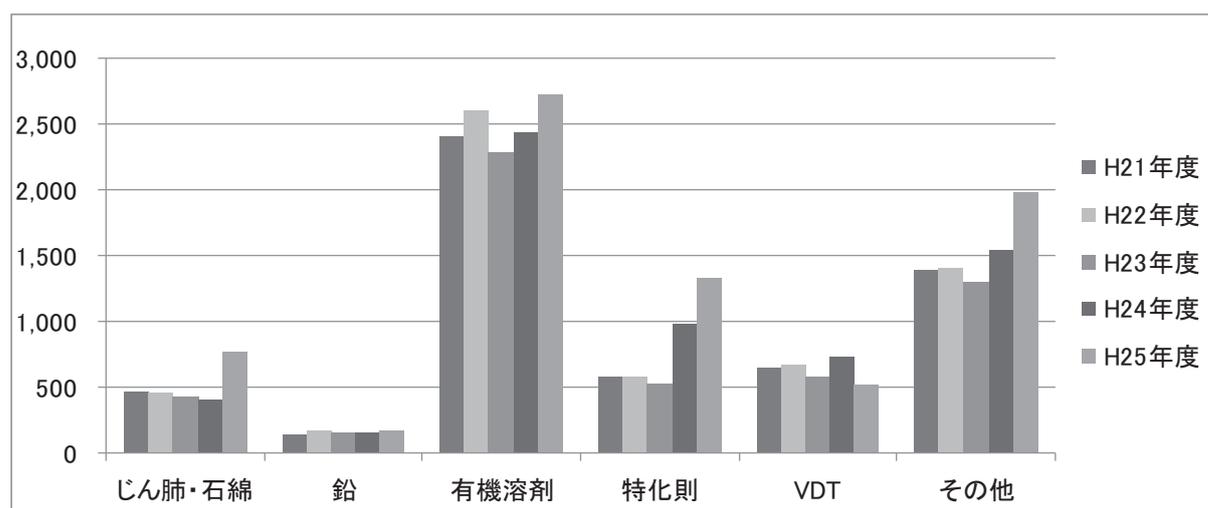
① 項目別実施状況

じん肺・石綿健診は772人、鉛健診は161人、有機溶剤健診は2,729人
特定化学物質健診は1,336人、VDT健診は515人、その他健診は1,983人であつた。

② 項目別受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
じん肺・石綿	471	458	428	404	772
鉛	143	160	146	157	161
有機溶剤	2,414	2,604	2,283	2,444	2,729
特化則	573	576	536	990	1,336
VDT	656	664	572	723	515
その他	1,401	1,409	1,310	1,541	1,983
計	5,658	5,871	5,275	6,259	7,496



3) 健診方法

労働安全衛生法及びじん肺法で定める検査項目を基本としている。

(5) 胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）

1) 検診概要

目的：「結核」の早期発見、まん延防止及び「肺がん」の早期発見、死亡率低下
対象：「結核」は65歳以上の住民、労働安全衛生法による定期健診対象者及び
感染症法による対象者、「肺がん」は40歳以上の住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では73,702人の検診を実施し、前年度に比べ2,717人（3.56%）の減少であった。

職域では43,066人の検診を実施し、前年度に比べ1,109人（2.51%）の増加であった。

各種学校では23,793人の検診を実施し、前年度に比べ340人（1.45%）の増加であった。

全体では前年度に比べ3,486人（2.42%）の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	90,596	87,078	82,596	76,419	73,702
職域	44,043	44,962	41,220	44,175	43,066
各種学校	15,636	16,973	20,882	23,453	23,793
計	150,275	149,013	144,698	144,047	140,561

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率（各種学校の読影のみ除く）

要精検者数は2,172人で、要精検率は1.55%であった。

④ 精検受診率（各種学校除く）

精検受診者数は297人で、精検受診率は13.7%であった。

⑤ がん発見率（各種学校除く）

発見された人数は10人で、発見率は0.01%であった。

内訳は男性8人、女性2人であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	41	33	37	48	10
がん発見率	0.03%	0.02%	0.03%	0.04%	0.01%

3) 検診方法

① 検診項目

結核検診 : 胸部X線間接撮影 (100mm)

肺がん検診 : 問診、胸部X線写真読影 (100mm)、喀痰細胞診 (問診で喫煙指数600以上の者または6ヶ月以内に血痰のあった者、いずれかに該当する者)

② 判定方法

胸部疾患専門医師2名による二重読影を行う。
肺がん検診では読影結果に基づき比較読影を実施する。

③ 判定区分

異常なし : 所見なし (有所見を含む)

経過観察 : 精密検査は不要だが経過を観察する

要精検 : 病変の発見及びその疑いがある

別表1 胸部X線検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～19			0										
	20～24	2		0										
	25～29			0										
	30～34	2		0										
	35～39	4		0										
	40～44	475	8	0										
	45～49	446	2	1										1
	50～54	520	3	0										
	55～59	832	14	1										1
	60～64	2,320	45	3	1						2			
	65～69	5,377	128	6	1						4			1
	70～74	6,325	162	8		1					1		1	5
	75～79	5,133	164	4	1						2		1	
	80～	4,889	193	7							7			
計	26,325	719	30	3	1	0	0	0	0	16	0	2	8	
女	～19			0										
	20～24	1		0										
	25～29	15		0										
	30～34	15	1	0										
	35～39	31		0										
	40～44	1,354	6	1									1	
	45～49	1,529	4	0										
	50～54	2,084	13	1									1	
	55～59	2,988	30	2							1			1
	60～64	6,696	117	5		1							2	2
	65～69	10,145	174	8							1	1	3	3
	70～74	9,528	221	10		1			1		5		2	1
	75～79	6,883	177	3								1	2	
	80～	6,108	234	6							3		1	2
計	47,377	977	36	0	2	0	0	1	0	10	2	12	9	
合計	73,702	1,696	66	3	3	0	0	1	0	26	2	14	17	

別表2 胸部X線検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～19	172	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～24	1,785	6	4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1
	25～29	3,691	12	5	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
	30～34	4,061	19	11	0	0	0	0	1	0	3	0	0	7
	35～39	2,744	18	10	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4
	40～44	2,406	15	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
	45～49	2,040	18	9	0	0	0	0	0	0	3	0	2	4
	50～54	1,639	18	7	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4
	55～59	1,536	37	17	1	0	0	0	0	0	10	1	0	5
	60～64	1,473	28	13	1	0	0	1	0	0	8	0	0	3
	65～69	774	40	23	1	0	0	0	0	1	14	0	2	5
	70～74	255	17	8	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1
	75～79	135	9	4	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0
	80～	217	18	8	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0
不明	773	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	23,701	279	126	5	2	0	2	1	1	65	2	5	43	
女	～19	78	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	20～24	1,889	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	25～29	3,364	14	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	30～34	2,681	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	35～39	2,000	16	8	0	0	0	0	1	0	0	1	0	6
	40～44	2,142	10	5	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2
	45～49	1,791	14	8	0	0	0	0	0	0	3	0	1	4
	50～54	1,658	23	13	0	0	0	0	0	0	9	0	0	4
	55～59	1,299	18	8	0	2	0	0	0	0	4	0	1	1
	60～64	945	24	9	1	0	0	0	0	0	6	0	0	2
	65～69	446	11	8	0	0	0	0	1	0	4	0	1	2
	70～74	174	4	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
	75～79	155	5	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
	80～	722	43	29	1	1	0	0	1	0	21	1	0	4
不明	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	19,365	197	105	2	3	0	0	3	1	55	2	3	36	
合計	43,066	476	231	7	5	0	2	4	2	120	4	8	79	

別表3 胸部X線検診年齢階層別実施状況（各種学校）

区分	受診者数	一次検査結果内訳			
		異常なし	経過観察	要精検	撮影のみ
高：1学年	9,837	9,819		18	
高：その他	392	391		1	
養護学校	225	224		1	
その他学校	13,339	12,172	1	53	1,113
計	23,793	22,606	1	73	1,113

別表4 喀痰細胞診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39						
	40～44	34		34			
	45～49	39		39			
	50～54	50		50			
	55～59	85		85			
	60～64	219		219			
	65～69	496	1	491	3	1	
	70～74	561		558	1	2	
	75～79	452		449	2		1
	80～	316		315	1		
	不明						
計	2,252	1	2,240	7	3	1	
女	～39						
	40～44	25		25			
	45～49	9		9			
	50～54	21		21			
	55～59	19		19			
	60～64	59		59			
	65～69	82		82			
	70～74	94		94			
	75～79	59		59			
	80～	49	2	47			
	不明						
計	417	2	415	0	0	0	
合計	2,669	3	2,655	7	3	1	

別表5 喀痰細胞診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39	2		2			
	40～44	12	3	12			
	45～49	15		15			
	50～54	8	1	8			
	55～59	28		25			
	60～64	11		11			
	65～69	31		30			
	70～74	23		23			
	75～79	18		18			
	80～	6		6			
	不明	1		1			
計	155	4	151	0	0	0	
女	～39	9	1	9			
	40～44	9		9			
	45～49	10		9			
	50～54	16		16			
	55～59	21		21			
	60～64	15		15			
	65～69	22		22			
	70～74	10		10			
	75～79	1		1			
	80～	3		3			
	不明						
計	116	1	115	0	0	0	
合計	271	5	266	0	0	0	

(6) 胃がん検診

1) 検診概要

目的： 胃がんの早期発見

対象： 原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では16,604人の検診を実施し、前年度に比べ884人(5.05%)の減少であった。

職域では6,967人の検診を実施し、前年度に比べ374人(5.67%)の増加であった。

全体では前年度に比べ510人(2.12%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	21,358	20,247	18,712	17,488	16,604
職域	6,026	6,246	6,547	6,593	6,967
計	27,384	26,493	25,259	24,081	23,571

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は1,894人で、要精検率は8.0%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は1,505人で、精検受診率は79.5%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は28人で、発見率は0.12%であった。

内訳は男性24人、女性4人であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	21	22	26	28	28
がん発見率	0.08%	0.08%	0.10%	0.12%	0.12%

3) 検診方法

① 検診項目

問診、胃部X線検査（日本消化器集団検診学会間接8枚撮影法）

② 判定方法

専門医師による二重読影（ダブルチェック）

③ 判定区分

異常なし： 所見なし（放置可を含む）

経過観察： 精密検査は不要だが経過を観察する

要精検： 疑わしい所見がみられるため精密検査の必要がある

別表 1 胃がん検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳													
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明		
男	～39																	
	40～44	183	15	8	2						2	1		3				
	45～49	147	11	10	1								6			1	1	
	50～54	167	10	8	0							1	7					
	55～59	272	29	20	1					2		1	11	1				4
	60～64	813	90	69	8	5				2	6	12	32		1			3
	65～69	1,591	169	137	12	3				3	11	18	80	1	1			8
	70～74	1,635	194	158	14	4				3	22	15	92	1	1			6
	75～79	1,161	129	112	10	6				3	21	8	51		1			12
	80～	1,014	113	90	6	5	2			5	14	6	41		2			9
計	6,983	760	612	54	21	2	0		19	76	62	323	3	7			43	2
女	～39	1																
	40～44	400	13	11	4					1			6					
	45～49	404	14	11	2					2			6	1				
	50～54	470	18	15	1					1	1		8	1				3
	55～59	711	41	35	5	2				1	6	4	16					1
	60～64	1,625	118	99	14					2	14	4	58	1	2			4
	65～69	2,153	155	130	13	2			1	1	26	7	69		1			10
	70～74	1,824	144	123	18					1	22	6	65		1			10
	75～79	1,163	96	84	7					2	9	5	50		1			9
	80～	871	65	55	6					2	15	2	27					2
計	9,621	664	563	70	4	2	1		10	96	28	305	3	5			39	0
合計	16,604	1,424	1,175	124	25	4	1		29	172	90	628	6	12			82	2

別表 2 胃がん検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳														
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明			
男	～39	961	55	37	8						3	2	19	1				3	
	40～44	946	53	37	4			1		1	6	3	17					5	
	45～49	776	45	27	3						2	1	15	3	1			2	
	50～54	638	63	46	9					2	1	4	24	1	1			4	
	55～59	559	66	45	1					4	4	6	28					2	
	60～64	439	47	33	1					1	3	3	22					3	
	65～69	175	28	23	1	1				4	4	2	10					1	
	70～74	29	3	2							1		1						
	75～79	5																	
	80～	1																	
計	4,529	360	250	27	1	1	0		13	24	21	136	5	2			20	0	
女	～39	416	11	9	2						3		3					1	
	40～44	489	12	8						4		3						1	
	45～49	426	17	11						3	2	5						1	
	50～54	430	22	12	1					2		5	3					1	
	55～59	374	19	15	1					1	1	12							
	60～64	227	18	15	3					5		5						2	
	65～69	60	8	7						1		1	5						
	70～74	15	3	3							1		2						
	75～79																		
	80～	1																	
計	2,438	110	80	7	0	0	0		1	19	4	40	3	0			6	0	
合計	6,967	470	330	34	1	1	0		14	43	25	176	8	2			26	0	

別表 3 胃がん検診年齢階層別実施状況（合計）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳														
					異常なし	胃がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	胃潰瘍	胃ポリープ	陳旧性胃潰瘍	慢性胃炎	十二指腸潰瘍	陳旧性十二指腸潰瘍	その他疾病	不明			
男	～39	961	55	37	8	0	0	0	0	1	3	2	19	1	0			3	0
	40～44	1,129	68	45	6	0	1	0	0	1	8	4	20	0	0			5	0
	45～49	923	56	37	4	0	0	0	0	1	2	1	21	3	2			3	0
	50～54	805	73	54	9	0	0	0	0	2	1	5	31	1	1			4	0
	55～59	831	95	65	2	0	0	0	0	6	4	7	39	1	0			6	0
	60～64	1,252	137	102	9	5	0	0	0	3	9	15	54	0	1			6	0
	65～69	1,766	197	160	13	4	0	0	0	7	15	20	90	1	1			9	0
	70～74	1,664	197	160	14	4	0	0	0	3	23	15	93	1	1			6	0
	75～79	1,166	129	112	10	6	0	0	0	3	21	8	51	0	1			12	0
	80～	1,015	113	90	6	5	2	0	0	5	14	6	41	0	2			9	0
計	11,512	1,120	862	81	24	3	0	0	32	100	83	459	8	9			63	0	
女	～39	417	11	9	2	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0			1	0
	40～44	889	25	19	4	0	0	0	0	5	0	9	0	0	0			1	0
	45～49	830	31	22	2	0	0	0	0	5	2	11	1	0	0			1	0
	50～54	900	40	27	2	0	0	0	0	1	3	0	13	4	0			4	0
	55～59	1,085	60	50	6	2	0	0	0	1	7	5	28	0	0			1	0
	60～64	1,852	136	114	17	0	0	0	0	2	19	4	63	1	2			6	0
	65～69	2,213	163	137	13	2	0	1	2	26	8	74	0	1	1			10	0
	70～74	1,839	147	126	18	0	0	0	0	1	23	6	67	0	1			10	0
	75～79	1,163	96	84	7	0	1	0	2	9	5	50	0	1	1			9	0
	80～	872	65	55	6	0	1	0	2	15	2	27	0	0	0			2	0
計	12,060	774	643	77	4	2	1	1	11	115	32	345	6	5			45	0	
合計	23,572	1,894	1,505	158	28	5	1	1	43	215	115	804	14	14			108	0	

(7) 子宮がん検診

1) 検診概要

目的： 子宮頸がんの早期発見

対象： 原則として20歳以上の女性で地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では26,465人の検診を実施し、前年度に比べ4,059人(13.3%)の減少であった。

職域では1,342人の検診を実施し、前年度に比べ651人(94.2%)の増加であった。

全体では前年度に比べ3,408人(10.9%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	33,679	34,287	32,790	30,524	26,465
職域	570	542	516	691	1,342
計	34,249	34,829	33,306	31,215	27,807

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は273人で、要精検率は0.98%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は174人で、精検受診率は63.7%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は12人で、発見率は0.04%であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	22	8	7	6	12
がん発見率	0.06 %	0.02 %	0.02 %	0.02 %	0.04 %

3) 検診方法

① 検診項目

問診（既往歴、家族歴等）、医師による視診・内診及び子宮頸部の細胞採取

② 判定方法

細胞診の判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士がスクリーニングして、ASC-US 以上のものについて細胞診専門医が判定を行う。

③ 判定区分

細胞診判定	結果	推定される 病理診断	従来クラス分類
NILM	陰性	非腫瘍性所見 炎症	I、II
ASC-US	意義不明な 異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い	II-IIIa
ASC-H	HSILを除外できない 異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa、IIIb
LSIL	軽度扁平 上皮内病変	HPV感染 軽度異形成	IIIa
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成	IIIa
		高度異形成	IIIb
		上皮内癌	IV
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌	V
AGC	異型腺細胞	腺異型または 腺癌疑い	III
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌	IV
Adenoca.	腺癌	腺癌	V
other malig.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍	V

別表1 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19							
20～24	324	15	6	4			2
25～29	752	28	8	2			6
30～34	1,430	40	26	5	2	1	18
35～39	2,081	46	34	10	4		20
40～44	2,036	44	30	12	3		15
45～49	1,478	29	18	9			9
50～54	1,537	9	5	3			2
55～59	1,904	8	6	1		1	4
60～64	3,502	9	5	3	1		1
65～69	4,283	14	13	6	1		6
70～74	3,676	7	7	2			5
75～79	2,321	4	4	4			
80～	1,141	3	1				1
計	26,465	256	163	61	11	2	89

別表2 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19							
20～24	71	3					
25～29	201	5	5	2			1
30～34	119	2	2		1		1
35～39	143						
40～44	238						
45～49	191	4	3				1
50～54	190	3	1				1
55～59	108						
60～64	59						
65～69	17						
70～74	3						
75～79	2						
80～							
計	1,342	17	11	2	1	0	4

別表3 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19	0	0	0	0	0	0	0
20～24	395	18	6	4	0	0	2
25～29	953	33	13	4	0	0	7
30～34	1,549	42	28	5	3	1	19
35～39	2,224	46	34	10	4	0	20
40～44	2,274	44	30	12	3	0	15
45～49	1,669	33	21	9	0	0	10
50～54	1,727	12	6	3	0	0	3
55～59	2,012	8	6	1	0	1	4
60～64	3,561	9	5	3	1	0	1
65～69	4,300	14	13	6	1	0	6
70～74	3,679	7	7	2	0	0	5
75～79	2,323	4	4	4	0	0	0
80～	1,141	3	1	0	0	0	1
計	27,807	273	174	63	12	2	93

(8) 乳がん検診

1) 検診概要

目的： 乳がんの早期発見

対象： 岡山県の指針で 30 歳代は視触診単独検診を毎年実施、40 歳以上はマンモグラフィ併用検診を毎年実施

原則、地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では 16,367 人の検診を実施し、前年度に比べ 237 人 (1.47%) の増加であった。

職域では 999 人の検診を実施し、前年度に比べ 29 人 (2.99%) の増加であった。

全体では前年度に比べ 266 人 (1.56%) の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	18,028	16,731	16,617	16,130	16,367
職域	852	878	1,028	970	999
計	18,880	17,609	17,645	17,100	17,366

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は 778 人で、要精検率は 4.48% であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は 515 人で、精検受診率は 66.2% であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は 24 人で、発見率は 0.14% であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	24	17	25	13	24
がん発見率	0.13 %	0.10 %	0.14 %	0.08 %	0.14 %

3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診、視触診（専門医師による立位・座位・仰臥位・視触診法により行う）
- ・問診、視触診、マンモグラフィ（40歳代のみ、内外斜位一方向と頭尾方向を加えた2方向）

② 判定方法

視触診 : 専門医師による

マンモグラフィ : マンモグラフィ精度管理中央委員会の認定読影医師による二重読影

③ 判定区分

・視触診

異常なし : 今回の検診で異常は認められない者

経過観察 : 精密検査は不要だが経過を観察する

要精検 : 今回の検診で精密検査の必要があると診断された者

・マンモ併用

異常なし : 今回の検診で異常は認められない者（有所見を含む）

要精検 : 疑わしい所見が見られるので精密検査が必要と診断された者

別表 1 乳がん年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳腺症	乳腺痛症	線維腺腫	その他	不明
～29	148	7								
30～34	262	14	1			1				
35～39	452	18	2	1					1	
40～44	1,376	96	73	20	1	28		6	18	
45～49	1,191	96	73	31	4	22		4	12	
50～54	1,288	61	37	10	1	12		4	10	
55～59	1,530	74	50	21	2	17		3	7	
60～64	2,647	105	77	34		27		5	11	
65～69	3,010	113	66	33	4	13		7	9	
70～74	2,387	80	51	19	6	15		4	7	
75～79	1,431	48	27	16	2	8			1	
80～	645	23	12	3		2		2	5	
不明			15	10	4		1			
計	16,367	735	484	198	24	145	1	35	81	0

別表 2 乳がん年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳腺症	乳腺痛症	線維腺腫	その他	不明
～29	25	1								
30～34	37									
35～39	86	3								
40～44	234	13	8	2		4		1	1	
45～49	206	8	5	3		1			1	
50～54	169	9	9	6		3				
55～59	111	6	5	3		1			1	
60～64	63	2	2	2						
65～69	38									
70～74	22	1	1					1		
75～79	5									
80～	3									
不明			1	1						
計	999	43	31	17	0	9	0	2	3	0

別表 3 乳がん年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳腺症	乳腺痛症	線維腺腫	その他	不明
～29	173	8								
30～34	299	14	1			1				
35～39	538	21	2	1					1	
40～44	1,610	109	81	22	1	32		7	19	
45～49	1,397	104	78	34	4	23		4	13	
50～54	1,457	70	46	16	1	15		4	10	
55～59	1,641	80	55	24	2	18		3	8	
60～64	2,710	107	79	36		27		5	11	
65～69	3,048	113	66	33	4	13		7	9	
70～74	2,409	81	52	19	6	15		5	7	
75～79	1,436	48	27	16	2	8			1	
80～	648	23	12	3		2		2	5	
不明			16	11	4		1			
計	17,366	778	515	215	24	154	1	37	84	0

(9) 大腸がん検診

1) 検診概要

目的： 大腸がんの早期発見

対象： 原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では19,946人の検診を実施し、前年度に比べ364人(1.79%)の減少であった。

職域では6,501人の検診を実施し、前年度に比べ137人(2.06%)の減少であった。

全体では前年度に比べ501人(1.86%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	24,284	23,373	20,023	20,310	19,946
職域	3,862	4,326	4,968	6,638	6,501
計	28,146	27,699	24,991	26,948	26,447

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は2,514人で、要精検率は9.33%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は1,732人で、精検受診率は68.9%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は25人で、0.09%であった。

内訳は男性17人、女性8人であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	22	38	36	33	25
がん発見率	0.08 %	0.14 %	0.14 %	0.12 %	0.09 %

3) 検診方法

① 検診項目

問診、検査（免疫学的便ヘモグロビン検査、便採取は2日法）

② 判定区分

異常なし：免疫学的便潜血反応検査において2日とも陰性

要精検：免疫学的便潜血反応検査において1日あるいは2日とも陽性

別表1 大腸がん検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39													
	40～44	218	13	9	3				2		4			
	45～49	217	12	6	2				2	2	0			
	50～54	242	22	12	3				7		2			
	55～59	356	29	18	2	1			14		1			
	60～64	950	98	65	11	2	1		35	7	8	1		
	65～69	1,688	162	114	25	2			61	8	14	3	1	
	70～74	1,739	166	130	26	3			73	15	10	2	1	
	75～79	1,250	160	114	17	3			65	14	12	1	2	
	80～	1,272	167	124	26	3			51	23	16	5		
計	7,932	829	592	115	14	1	0	310	69	67	12	4		
女	～39	3												
	40～44	447	29	18	5				5	2	4	2		
	45～49	449	23	13	4				6		3			
	50～54	596	37	24	6				10	2	5	1		
	55～59	849	46	30	10				7	4	7	2		
	60～64	1,898	120	88	27	3	1		34	5	15	3		
	65～69	2,500	170	137	34				62	17	21	3		
	70～74	2,172	155	117	25	4			52	10	25	1		
	75～79	1,637	133	105	27				42	3	26	6	1	
	80～	1,463	144	101	19	1			36	16	23	5		
計	12,014	857	633	157	8	1	0	254	59	129	23	1		
合計	19,946	1,686	1,225	272	22	2	0	564	128	196	35	5		

別表2 大腸がん検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39	826	44	14					3		3	1		
	40～44	800	39	17	6				7	3	1			
	45～49	670	47	28	4	1			16	2	2	3		
	50～54	491	30	17	2	1	1		9	1	1	2		
	55～59	440	33	19	5		1		11	2				
	60～64	372	34	14	2				11	1				
	65～69	199	21	11	2	1			6	2				
	70～74	74	7	4	2				3	1				
	75～79	23	2											
	80～	5	1											
計	3,900	258	124	23	3	2	0	66	12	7	6	0		
女	～39	592	54	24	12		1		3		7			
	40～44	460	24	11	5				2		1	2		
	45～49	367	26	12	2				2	2	5	1		
	50～54	337	19	13	3				3	2	3	2		
	55～59	367	18	12	1				3	2	6			
	60～64	247	16	9	2				4	1		1	1	
	65～69	125	9	5	2				3					
	70～74	73	9	7	2				3	1	1			
	75～79	15	1											
	80～	18	2											
計	2,601	178	93	29	0	1	0	23	8	23	6	1		
合計	6,501	436	217	52	3	3	0	89	20	30	12	1		

別表3 大腸がん検診年齢階層別実施状況（合計）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明	
男	～39	826	44	14	0	0	0	0	3	0	3	1	0	
	40～44	1,018	52	26	9	0	0	0	9	3	5	0	0	
	45～49	887	59	34	6	1	0	0	18	4	2	3	0	
	50～54	733	52	29	5	1	1	0	16	1	3	2	0	
	55～59	796	62	37	7	1	1	0	25	2	1	0	0	
	60～64	1,322	132	79	13	2	1	0	46	8	8	1	0	
	65～69	1,887	183	125	27	3	0	0	67	10	14	3	1	
	70～74	1,813	173	134	28	3	0	0	76	16	10	2	1	
	75～79	1,273	162	114	17	3	0	0	65	14	12	1	2	
	80～	1,277	168	124	26	3	0	0	51	23	16	5	0	
計	11,832	1,087	716	138	17	3	0	376	81	74	18	4		
女	～39	595	54	24	12	0	1	0	3	0	7	0	0	
	40～44	907	53	29	10	0	0	0	7	2	5	4	0	
	45～49	816	49	25	6	0	0	0	8	2	8	1	0	
	50～54	933	56	37	9	0	0	0	13	4	8	3	0	
	55～59	1,216	64	42	11	0	0	0	10	6	13	2	0	
	60～64	2,145	136	97	29	3	1	0	38	6	15	4	1	
	65～69	2,625	179	142	36	0	0	0	65	17	21	3	0	
	70～74	2,245	164	124	27	4	0	0	55	11	26	1	0	
	75～79	1,652	134	105	27	0	0	0	42	3	26	6	1	
	80～	1,481	146	101	19	1	0	0	36	16	23	5	0	
計	14,615	1,035	726	186	8	2	0	277	67	152	29	2		
合計	26,447	2,122	1,442	324	25	5	0	653	148	226	47	6		

(10) 前立腺がん検診

1) 検診概要

目的： 前立腺がんの早期発見

対象： 原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では6,213人の検診を実施し、前年度に比べ11人(0.18%)の減少であった。

職域では311人の検診を実施し、前年度に比べ31人(11.9%)の増加であった。全体では前年度に比べ22人(0.34%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
地域	5,803	5,709	6,175	6,224	6,213
職域	272	266	250	278	311
計	6,075	5,975	6,425	6,502	6,524

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は372人で、要精検率は5.70%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は207人で、精検受診率は55.7%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は21人で、発見率は0.32%であった。

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
がん発見者数	26	37	39	23	21
がん発見率	0.43%	0.62%	0.61%	0.35%	0.32%

3) 検診方法

① 検診項目： 問診、前立腺特異抗原検査 (CLEIA 法)

② 判定区分： PSA の基準値を 4.0ng/ml とし、4.0 以下を異常なし、4.1 以上を要精検と判定

別表1 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳							
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明
～39	1										
40～44	67										
45～49	74	1									
50～54	173	2	1					1			
55～59	266	5	3	1		1					1
60～64	833	31	14	3	1			6	2		2
65～69	1,530	83	39	8	8	5		14	3		1
70～74	1,563	95	53	14	5	4		25	3		2
75～79	984	77	43	11	4	8		18	1		1
80～	722	72	51	9	3	9		25			5
計	6,213	366	204	46	21	27	0	89	9	0	12

別表2 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳							
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明
～39	17										
40～44	29										
45～49	29										
50～54	90										
55～59	69	2	1						1		
60～64	46	2	2			1			1		
65～69	25	2									
70～74	4										
75～79	2										
80～											
計	311	6	3	0	0	1	0	0	2	0	0

別表3 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳							
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明
～39	18										
40～44	96										
45～49	103	1									
50～54	263	2	1					1			
55～59	335	7	4	1		1		0	1		1
60～64	879	33	16	3	1	1		6	3		2
65～69	1,555	85	39	8	8	5		14	3		1
70～74	1,567	95	53	14	5	4		25	3		2
75～79	986	77	43	11	4	8		18	1		1
80～	722	72	51	9	3	9		25			5
計	6,524	372	207	46	21	28	0	89	11	0	12

(11) 骨粗鬆症検診

1) 検診概要

目的： 骨粗鬆症の予防

対象： 地域住民、事業所就業者、学生

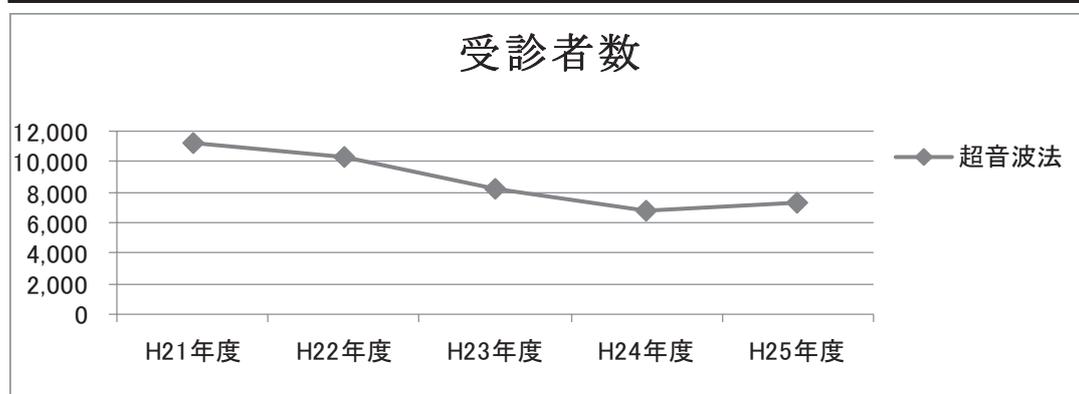
2) 実施状況

7,328人の検診を実施し、前年度に比べ582人(8.63%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
超音波法	11,200	10,284	8,239	6,746	7,328



3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診
- ・超音波法 : 足のかかると超音波をあてて、音響的骨評価値により骨密度を測定

② 判定方法

性別、年齢別に下記判定基準値(YAM値)と照合し医師による最終判定を行う

4) 判定基準値(成人)

性別	年齢	YAM値に対する割合		
		① 異常なし	② 要指導	③ 要精検
女性	59歳以下	90%以上	90%未満 80%以上	80%未満
	60歳以上	90%以上	90%未満 70%以上	70%未満
男性	全年齢	90%以上	90%未満 75%以上	75%未満

(12) 学校保健検査

1. 尿検査

1) 検査概要

目的： 腎臓病・糖尿病等早期発見

対象： 学校保健法に基づく幼児・児童・生徒等

2) 実施状況

163,021人の検査を実施し、前年度に比べ10,444人(6.02%)の減少であった。

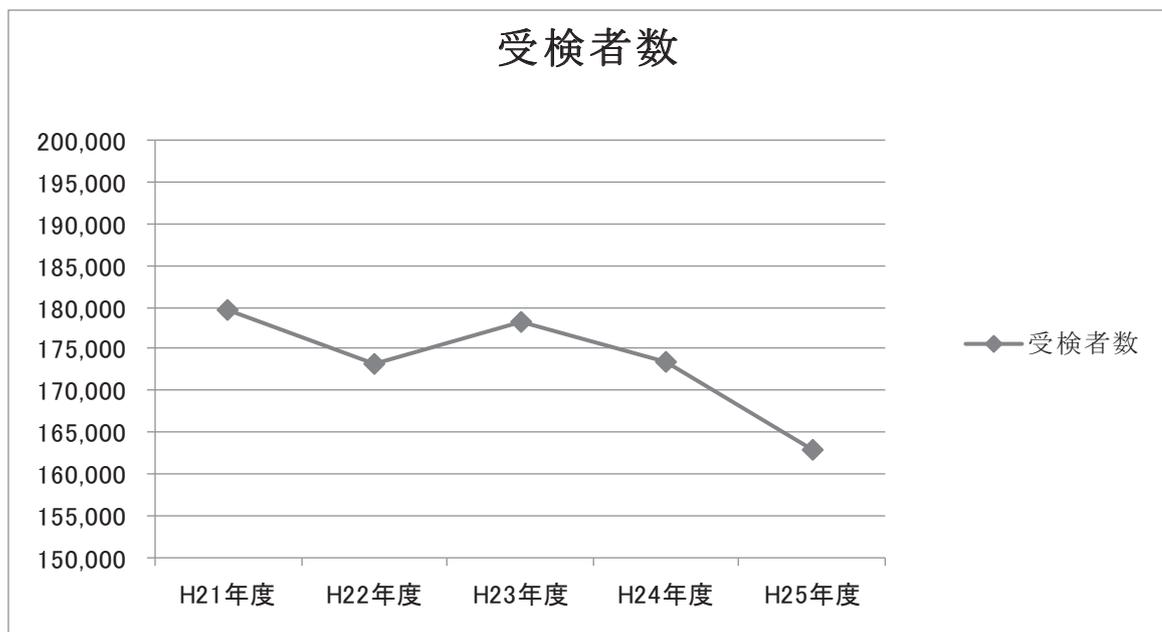
第1回検尿の陽性者は4,785人で、陽性率は2.94%であった。

第2回検尿の陽性者は966人で、陽性率は23.6%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
受検者数	179,626	173,309	178,147	173,465	163,021



② 検査実績

対象	性別	第1回検尿						第2回検尿					
		受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数			受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数		
					糖	蛋白	潜血				糖	蛋白	潜血
幼稚園 保育園	男	8,454	58	0.69	5	34	19	45	7	15.56	1	4	5
	女	8,006	106	1.32	1	72	39	76	17	22.37	0	10	9
	計	16,460	164	1.00	6	106	58	121	24	19.83	1	14	14
小学校	男	41,219	375	0.91	14	265	102	339	95	28.02	0	59	60
	女	39,018	890	2.28	11	597	316	848	226	26.65	2	145	123
	計	80,237	1,265	1.58	25	862	418	1,187	321	27.04	2	204	183
中学校	男	20,848	825	3.96	18	732	96	764	184	24.08	4	184	56
	女	19,466	1,314	6.75	23	666	720	1,146	213	18.59	2	213	119
	計	40,314	2,139	5.31	41	1,398	816	1,910	397	20.79	6	397	175
高等学校	男	9,411	391	4.15	29	325	58	335	97	28.96	9	80	19
	女	10,541	556	5.27	14	351	236	432	103	23.84	4	86	33
	計	19,952	947	4.75	43	676	294	767	200	26.08	13	166	52
その他の 学校	男	13,330	40	0.30	7	29	4	17	2	11.76	0	2	0
	女	3,037	90	2.96	7	55	33	28	3	10.71	1	2	0
	計	16,367	130	0.79	14	84	37	45	5	11.11	1	4	0
特殊学校	男	1,127	80	7.10	5	71	7	41	12	29.27	2	10	2
	女	564	60	10.64	6	37	29	18	7	38.89	0	7	2
	計	1,691	140	8.28	11	108	36	59	19	32.20	2	17	4
合計	男	82,389	1,769	2.15	78	1,456	286	1,541	397	25.76	16	339	142
	女	80,632	3,016	3.74	62	1,778	1,373	2,548	569	22.33	9	463	286
	計	163,021	4,785	2.94	140	3,234	1,659	4,089	966	23.62	25	802	428

3) 検査方法

- ・第1回検尿：蛋白、潜血、糖を尿自動分析装置（US3300）を用いて定性検査を実施する。
蛋白（±）以上の尿に対しては、スルホサリチル酸法で確認する。
- ・第2回検尿：第1回検尿の陽性者に対し第1回検尿と同様の検査項目・検査方法を行う。
蛋白・潜血陽性者に対しては沈渣鏡検を行う。

2. 寄生虫検査

1) 検査概要

目的： 学校保健法に基づく寄生虫の保卵者の発見

対象： 幼児、児童、生徒等

2) 実施状況

糞便検査は7,653人の検査を実施し、前年度に比べ3,142人（69.7%）の増加であった。

蟯虫検査は65,165人の検査を実施し、前年度に比べ5,879人（9.92%）の増加であった。

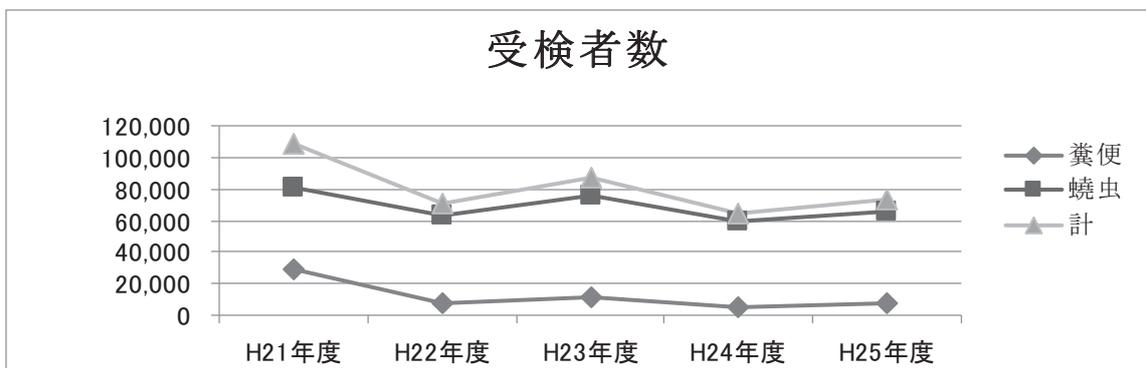
糞便検査の保卵者は0人で、陽性率は0.00%であった。

蟯虫検査の保卵者は28人で、陽性率は0.04%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
糞便	28,674	7,934	11,359	4,511	7,653
蟯虫	80,288	62,810	76,236	59,286	65,165
計	108,962	70,744	87,595	63,797	72,818



② 検査実績

区分	糞便			蟯虫		
	検査者数	保卵者数	陽性率(%)	検査者数	保卵者数	陽性率(%)
保育園 幼児クラブ	734	0	0.00	6,513	0	0.00
幼稚園	4,188	0	0.00	13,529	2	0.01
小学校	2,350	0	0.00	44,553	26	0.06
特殊学校	381	0	0.00	570	0	0.00
計	7,653	0	0.00	65,165	28	0.04

3) 検査方法

- セロファンテープ肛囲検査法： 蟯虫卵検査方法はセロテープ法を用いた採卵を行う。夜間に肛門周囲に産卵された蟯虫卵を早朝セロテープの粘着部に付着させ、これを2日間（2回）行い、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。
- セロファン厚層塗抹法 : 便をマッチの頭程度スライドに乗せ、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。

3. 貧血検査

1) 検査概要

目的： 貧血をはじめとする血液学的疾病の早期発見

対象： 児童、生徒等

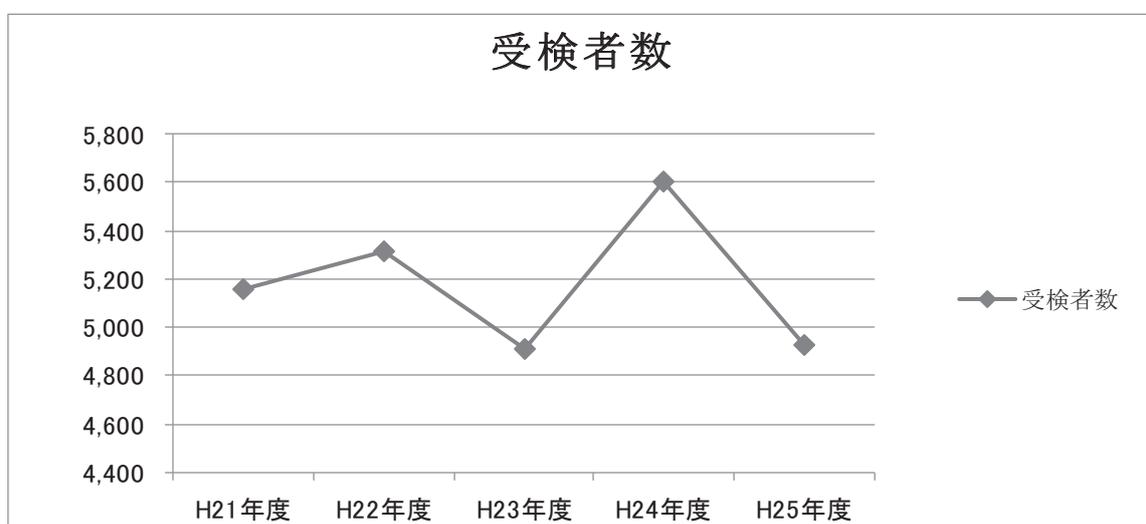
2) 実施状況

4,927 人の検査を実施し、前年度に比べ 674 人（12.0%）の減少であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
受検者数	5,159	5,312	4,909	5,601	4,927



② 検査実績

区分	性別	RBC (赤血球数)		Hb (ヘモグロビン)		Ht (ヘマトクリット)	
		受診数	基準外	受診数	基準外	受診数	基準外
中学校	男	138	11	138	7	138	5
	女	250	38	250	27	250	18
高校	男	1,871	429	1,871	135	1,871	67
	女	2,668	421	2,668	309	2,668	226
計		4,927	899	4,927	478	4,927	316

3) 検査方法

静脈より採血し、全自動血球計数装置 (XE2100) で RBC (赤血球数)、Hb (ヘモグロビン)、Ht (ヘマトクリット) の値を測定する。

4. 心臓検診

1) 検診概要

目的： 心疾患児の発見とともに重症度を判定し、突然死等の発生の予防
 対象： 学校保健法に基づく、小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、
 高等学校1年生及びその他の学年

2) 実施状況

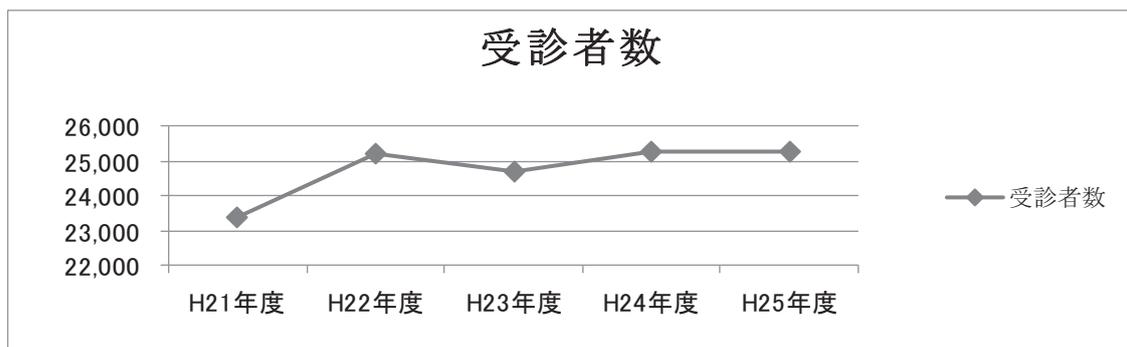
25,272人の検診を実施し、前年度に比べ11人(0.04%)の増加であった。
 有所見率は2.93%であった(医師会審査判読分は除く)。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
受診者数	23,398	25,191	24,701	25,261	25,272

② 検診実績



区分	受診者数	判 定		
		正常	有所見	有所見率
小学校	6,109	5,977	132	2.16
中学校	6,198	6,021	177	2.86
高校、大学	8,371	8,091	280	3.34
特殊学校	313	288	25	7.99
計	20,991	20,377	614	2.93

※ 医師会審査判読分(4,281人)を除く

3) 検診方法

心臓検診票と省略4誘導心電図+2点心音図を実施。一部の学校では標準12誘導心電図を実施。

県医師会解析センターで自動解析(一次判読)後、一次有所見者と検診票有点者をふるい分けし、市医師会心臓判定委員会、財団専門医師等で二次判読を実施し最終判定を行う。

5. 小児生活習慣病予防健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病及び生活習慣病予備軍の発見

対象：小学校4年生と中学校1年生の生徒（1市のみ実施）

2) 実施状況：

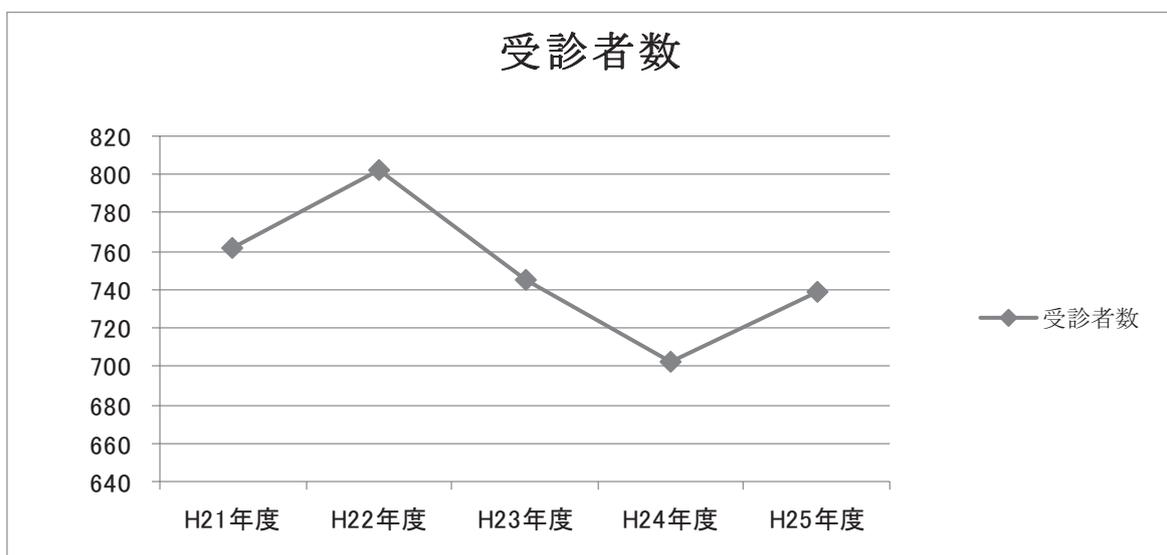
739人の健診を実施し、前年度に比べ37人（5.27%）の減少であった。

また、判定結果で何らかの管理を要する生徒は202人（27.3%）であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
受診者数	762	802	745	702	739



② 健診実績

区分		受診者数	管理区分										
			要医学的管理 (I)		要経過観察 (II)		要指導 (III)		管理不要 (IV)		正常 (N)		
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
小学校	4年生	男	195	2	1.0	13	6.7	37	19.0	89	45.6	54	27.7
		女	157	5	3.2	9	5.7	35	22.3	79	50.3	29	18.5
		計	352	7	2.0	22	6.3	72	20.5	168	47.7	83	23.6
中学校	1年生	男	196	4	2.0	11	5.6	25	12.8	95	48.5	61	31.1
		女	191	7	3.7	10	5.2	44	23.0	90	47.1	40	20.9
		計	387	11	2.8	21	5.4	69	17.8	185	47.8	101	26.1
合計		男	391	6	1.5	24	6.1	62	15.9	184	47.1	115	29.4
		女	348	12	3.4	19	5.5	79	22.7	169	48.6	69	19.8
		計	739	18	2.4	43	5.8	141	19.1	353	47.8	184	24.9

3) 健診方法

① 健診項目

小児生活習慣病予防健診調査票（家族歴、糖尿病の有無）、身体計測（肥満度の計算）、血中脂質検査、血圧測定

② 判定区分

健診各項目を小児生活習慣病基準値からの乖離度合で判定し、同時にその判定の組合せで5段階の総合判定を行う。

総合判定には専門医師が関与するとともに総合判定のランクに対応して指導（管理）区分を決定する。

管理区分	内容
I	要医学的管理
II	要経過観察
III	要指導
IV	管理不要
N	正常

(13) 先天性代謝異常等検査

1) 検査概要

目的：先天性代謝異常症等の早期発見
 対象：新生児（原則として保護者の検査希望）

2) 実施状況

H11年度より岡山県からの委託事業として実施しているが、H18年度から高知県、H20年度から鳥取県より委託があり、H21年度から岡山市の政令都市への移行に伴い、岡山市から委託を受けている。また平成24年度からタンデムマス検査が導入され対象疾患は従来の6疾患から19疾患に拡大し、一時的ではあるが埼玉県、愛媛県からの委託を受けた。H25年度からは島根県より3項目の委託を受けた。

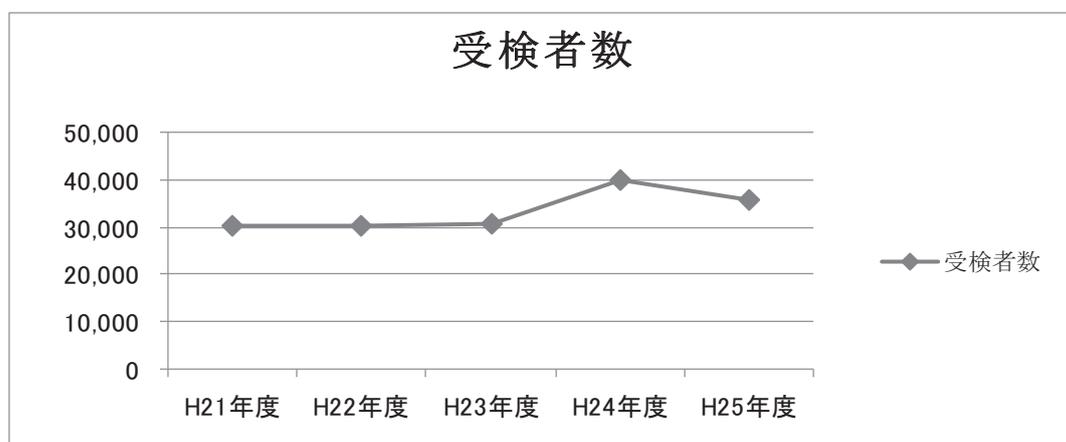
35,659人（初回検体数:33,874人、再採血による再検査数:1,785人）の検査を実施し、前年度に比べ4,341人（10.9%）の減少であった。

内訳は要再検査1,778人（5.25%）、要精検172人（0.51%）、確定患児28人（0.08%）であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
受検者数	30,228	30,440	30,538	40,000	35,659



② 検査実績

対象疾患	初回検体数	要再検査	要精検	患児件数
先天性甲状腺機能低下症	33,874	534 (1.58)	91 (0.27)	24 (0.07)
先天性副腎過形成症		344 (1.02)	48 (0.14)	1 (0.00)
ガラクトース血症		56 (0.17)	10 (0.03)	0 (0.00)
アミノ酸代謝異常症	27,963	18 (0.06)	12 (0.04)	1 (0.00)
有機酸代謝異常症	22,196	64 (0.29)	6 (0.03)	0 (0.00)
脂肪酸代謝異常症		19 (0.09)	5 (0.02)	2 (0.01)
低出生体重児と検体不備の2回採血		743 (2.19)		

3) 検査方法

出生から4～6日目に、新生児の踵から4スポットの血液をろ紙に採血する。
よく乾燥されたものを検体とする。

ガラクトース血症はマイクロプレート酵素法及びボイトラー法で検査。

先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症はELISA法で検査。

アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症はタンデムマス法で検査する。

2 環 境 部

(1) 飲料水検査

1) 検査概要

目的・・・水道事業、食品製造、飲用井戸、建築物等における安全な飲み水の確認
対象・・・自治体、事業所、建築物管理者、貯水槽清掃業者及び個人

2) 実施状況

11,307 件検査を受託し、前年度と比較し 68 件 (0.6%) の増加であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
11,359	11,703	10,745	11,163	11,236	11,239	11,307

② 平成 25 年度の検査実績

(件)

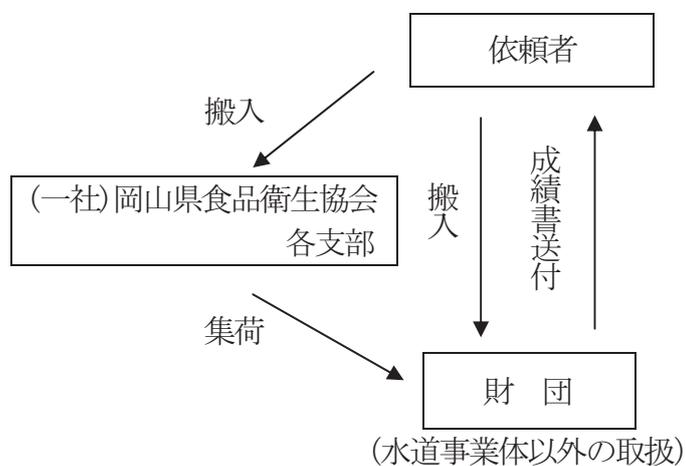
業務分類	検査種別	件数
水道事業	基準項目	629
	省略不可項目	640
	簡易項目	2,321
	水質管理目標設定項目	102
	農薬類	549
	クリプトスポリジウム	550
	クリプトスポリジウム汚染指標菌	1,580
ビル管理関係	15 項目	191
	10 項目	113
	消毒副生項目	124
食品衛生関連	食品製造用水	111
	ミネラルウォーター	13
飲用井戸水等	化学・細菌検査	3,710

3) 検査方法

厚生労働省告示第 261 号、上水試験方法、食品衛生法等による試験法で各検査項目を測定する。

4) 検査システム

検体の搬入は、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。水道事業体については職員が現地訪問により採取し、搬入後、理化学的検査と生物学的検査の部門別に検査を行い、検査成績書を発行する。



5) 登録検査機関

水道法に基づき指定検査機関として認可されていたが、同法の改正により平成16年2月27日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

また、ビル管理法に基づく水質検査は昭和47年より登録検査機関となっている。

(2) 簡易専用水道検査

1) 検査概要

目的・・・建築物等における安全な飲み水の確保
対象・・・マンション・学校・病院・事務所ビル等

2) 実施状況

2,118 件検査を受託し、前年度と比較し 14 件 (0.7%) 増加した。

① 受託検査数の年度別推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
2,073	2,078	2,106	2,125	2,127	2,104	2,118

② 平成 25 年度の検査実績

(件)

簡易専用水道		小規模 貯水槽水道他	総件数
現場検査	書類検査		
1,711	265	142	2,118

③ 平成 25 年度の不適合率

簡易専用水道	小規模 貯水槽水道	全 体
38.2%	29.1%	37.6%

※不適合率とは「良好」以外と判定された施設の割合

④ 簡易専用水道の不適合率の年度別推移

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
48.7%	48.0%	45.5%	43.5%	44.0%	43.0%	38.2%

3) 検査方法

水道法、施行規則、厚生労働省告示、岡山県、岡山市及び岡山市簡易専用水道の取扱いに係る指導指針

4) 検査システム

検査実施については、設置者又は設置者の委託を受けた管理者等からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

水道法第34条2の第2項に基づく指定検査機関として昭和54年10月から検査を行っているが、同法の改正により平成16年3月31日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

(3) 浄化槽法定検査

1) 検査概要

目的・・・事業所・店舗や家庭等の浄化槽放流水による公共用水域の水質の保全
 対象・・・自治体、浄化槽設置者又は管理者

2) 実施状況

7条検査1,062件、11条検査49,263件を合わせて50,325件の検査を受託し、前年度と比較し266件(0.5%)の減少であった。

① 法定検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
50,887	50,960	50,725	50,578	50,638	50,591	50,325

② 7条検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1,895	1,739	1,608	1,237	1,269	1,118	1,062

③ 11条検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
48,992	49,221	49,117	49,341	49,369	49,473	49,263

④ 平成25年度の検査判定内訳

(件)

判定	7条検査	11条検査		
			みなし 浄化槽	合併処理 浄化槽
適正	855	36,378	11,184	25,194
概ね適正	206	12,320	3,673	8,647
不適正	1	565	359	206
総件数	1,062	49,263	15,216	34,047

3) 検査方法

浄化槽法、施行規則、環境省告示、岡山県及び岡山市要綱

4) 検査システム

○7条検査（設置後検査）

浄化槽設置者（又は施工業者）は、浄化槽設置前に設置票、7条検査依頼書に検査料金を添えて岡山県浄化槽施工協同組合の窓口提出する。

提出された書類、検査料金は後日検査機関に送付され、7条検査の実施計画を立てる。検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について8,000円（非課税）と定めている。

○11条検査（年1回定期検査）

浄化槽設置者（管理者）は、保守点検業者、清掃業者及び指定検査機関と一括契約方式により委託契約を結び、検査料金は保守点検業者の協力により保守点検料金に含めて徴収され、法定検査実施後に検査機関に支払われる。

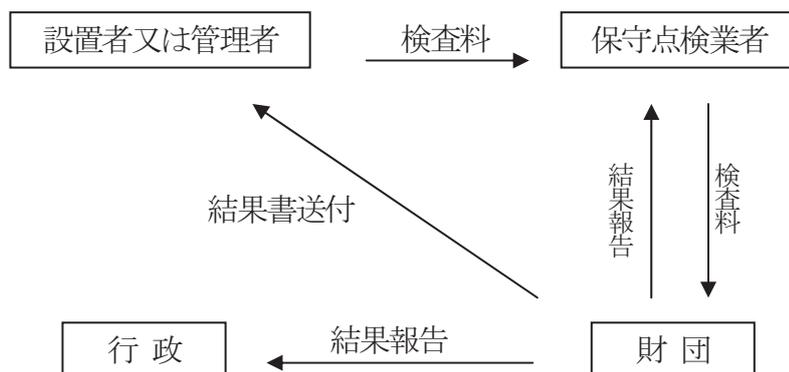
検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について5,700円（非課税）と定めている。

○検査について

検査は、外観検査、水質検査、書類検査について行い、設置者（管理者）に検査結果書を送付する。

検査結果で「不適正」と判定された浄化槽並びに未保守浄化槽については、関係行政機関、関係団体に報告し改善指導を要請している。

また、保守点検業者及び施工業者にも改善策を講ずるべく不適正の内容を報告している。



5) 指定検査機関

昭和61年4月に浄化槽法第57条の規定に基づく岡山県知事指定浄化槽検査機関として指定を受け、検査を開始する。

(4) 産業排水検査

1) 検査概要

目的・・・事業所等による排水の汚染状況確認

対象・・・自治体、事業所、ホテル、社会福祉施設等

2) 実施状況

2,251 件検査を受託し、前年度と比較し 718 件の減少であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
2,994	5,465	3,150	2,798	2,550	2,969	2,251

② 検査実績

(件)

25 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	10,524	598

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	1,106
BOD	1,261
COD	1,709
DO	31
SS	1,075
ノルマルヘキサン抽出物質	506
全窒素	1,630
全りん	1,618
塩素イオン	253
カドミウム	64
鉛	59
六価クロム	79
シアン化合物	56
有機リン	44
ヒ素	56
総水銀	56
アルキル水銀	45
PCB	40
六価クロム溶出試験	65
大腸菌群数	598

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第107条の計量証明事業所

(5) 河川水検査

1) 検査概要

目的・・・河川、海域及び湖沼等における自然環境の保全と安全な生活環境の確保
対象・・・自治体、事業所等

2) 実施状況

1,512 件検査を受託し、前年度と比較し 335 件の減少であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
1,947	1,600	1,423	2,035	1,617	1,847	1,512

② 検査実績

(件)

25 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	11,627	1,176

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	1,912
BOD	1,333
COD	1,331
DO	1,683
SS	1,489
ノルマルヘキサン抽出物質	259
全窒素	916
全りん	908
塩素イオン	332
カドミウム	171
鉛	202
六価クロム	159
シアン化合物	156
有機リン	16
ヒ素	212
総水銀	166
アルキル水銀	140
PCB	147
農薬（ゴルフ場等）	168
一般細菌数	10
大腸菌群数	1,062

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第 107 条の計量証明事業所

(6) 食品検査

1) 検査概要

目的・・・安心・安全な食品の確保、飲食物に起因する衛生上の危害防止
 対象・・・自治体、食品製造業者、食品販売店及び給食事業所等

2) 実施状況

5,410 件検査を受託し、前年度と比較し 353 件 (6.1%) の減少であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
衛生検査	7,811	6,570	5,584	6,172	5,828	5,763	5,410
輸入食品 自主検査等	—	37	95	65	48	68	57

② 検査実績

(件)

25年度	理化学的検査項目	細菌学的検査項目
検査項目数	2,754	9,057

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
栄養成分等検査	1,054
添加物等検査	139
重金属類の検査	201
農薬等検査	87
細菌数	2,102
大腸菌群	2,203
サルモネラ	698
黄色ブドウ球菌	940
腸炎ビブリオ	202
腸管出血性大腸菌	338
器具容器包装の検査	129
家庭用品検査	33
食品検査 (輸入)	95
ノロウイルス	469

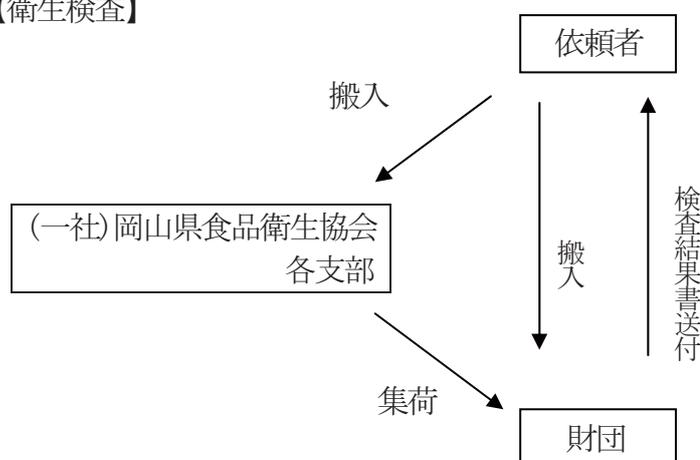
3) 検査方法

食品衛生法等に基づく公定法又は公定法に準拠した方法により、国の認可を受けた「検査実施標準作業書」等に基づき行う。

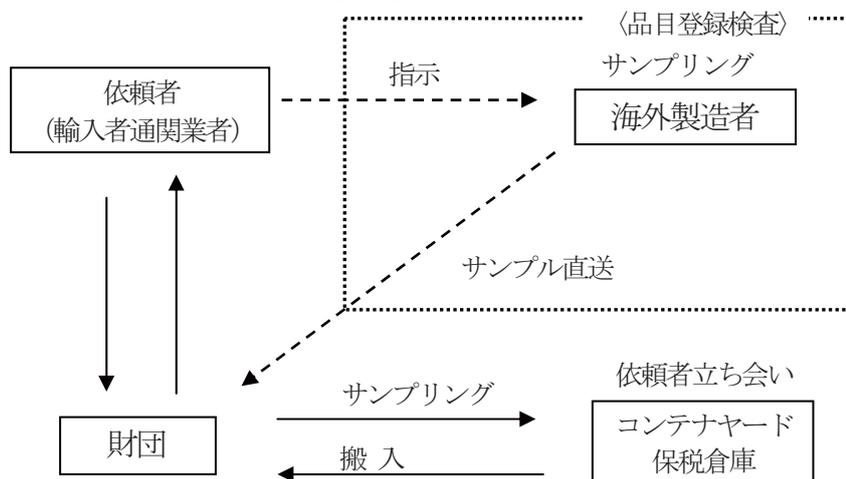
4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。また、輸入食品等自主検査等は、登録検査員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、理化学的検査と細菌学的検査の検査を行い、検査結果書を送付する。

【衛生検査】



【製品検査・輸入食品等自主検査】



5) 登録検査機関

食品衛生法に基づき昭和63年3月10日付けで認可されていた「指定検査機関」が同法の改正により平成16年2月27日から厚生労働大臣が認可する「登録検査機関」に移行し、平成21年2月27日付けで厚生労働大臣から登録の更新を受けている。また、平成21年6月に食品衛生法第26条3項の追加登録を受け、輸入食品等命令検査の受託を開始した。

(7) 腸内細菌検査等

1) 検査概要

目的・・・腸内細菌に起因する衛生上の危害防止
対象・・・食品製造業者及び給食事業所等

2) 実施状況

9,033 件検査を受託し、前年度と比較し1,211 件の減少であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
10,753	11,213	11,708	10,297	10,507	10,244	9,033

② 主な項目の検査数

(件)

	検査項目	件数
腸内細菌	寄生虫検査	2
	赤痢・腸チフス・パラチフス	9,220
	サルモネラ	9,129
	腸炎ビブリオ	129
	腸管出血性大腸菌 (O-157 を含む)	9,106
	病原大腸菌	51
砂場の砂	犬猫回虫卵	56
	砂場の細菌 (E. coli)	67

3) 検査方法

食の安全を確保するための微生物協議会の「食品関連従事者の腸管系病原菌保菌者検査マニュアル」に基づき行う。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

(8) その他の検査

1) 検査概要

目的・・・プール、温泉等の衛生管理の保全とレジオネラ症の発症防止
対象・・・学校、温泉施設等

2) 実施状況

2,403 件検査を受託し、前年度と比較し 1,087 件の増加であった。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
1,593	1,571	1,470	1,470	1,294	1,316	2,403

② 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
プール水検査 (化学・細菌)	226
プール水検査 (トリハロメタン)	490
温泉検査	32
室内の化学物質検査	4
浴槽水検査	307
レジオネラ属菌検査	794

3) 検査方法

「遊泳用プールの検査基準について」及び「学校環境衛生の基準」に示された内容に沿って、定められた項目及び検査方法で検査を実施する。

温泉法、温泉法施行規則、鉱泉分析法指針に則り実施する。

室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について実施する。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、あるいは職員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録温泉分析機関
建築物空気環境測定登録事業所

(9) 精度管理

1) 環境部における ISO9001:2008 の運用状況

環境部及び北部支所においては、河川水・排水検査及び簡易専用水道検査部門で、顧客サービスの向上と品質管理システムの強化を目指す目的から、平成 14 年 10 月に（一財）日本品質保証機構（JQA）から ISO9001:2000 の認証を取得した。

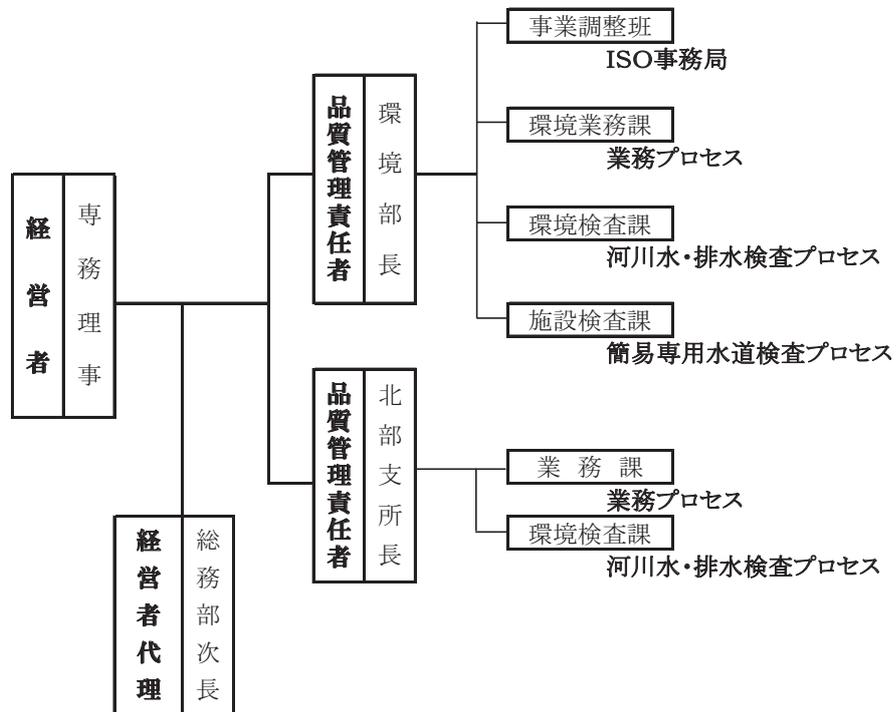
また、平成 22 年 9 月には、登録の更新と最新規格の ISO9001:2008 年版への移行審査を受けて「適合」と判断され、10 月に認証を更新取得した。

なお、年 2 回の内部監査と年 1 回の外部審査を計画実行し、年度末には経営者によるマネジメントレビューで管理システムの有効性評価を行い、継続的改善に繋げている。

2) ISO 対象組織と責任体制

経営者に専務理事、その代理者を総務部次長とし、品質管理責任者である環境部長並びに北部支所長を中心に品質管理体制の強化を図り、品質管理の継続的改善に努めている。

平成 25 年度の ISO9001 対象部門の体制図



3) 水道 GLP 体制の強化及び取り組み状況

環境部では飲料水検査部門において、平成 21 年 1 月に水質検査機関による水道水水質検査結果の信頼性確保を目的とした（公社）日本水道協会の水道水質検査優良試験所規範（水道 GLP）の認定を取得し、水道 GLP 品質管理マニュアルに従い、水道検査を適切に実施すると共に、内部及び外部精度管理の実施や記録の管理を厳重に行い、水道 GLP 体制の維持向上に努めている。

また、毎年厚生労働省が行っている水道水質検査の統一精度管理調査においては、連続して最高の評価を受けている。

4) 食品 GLP 体制の強化及び取り組み

食品衛生法では、登録検査機関で実施される試験検査結果の信頼性を確保するためのシステムとして GLP 体制の導入が義務づけられており、体制強化に職員一丸となって取り組むとともに、外部精度管理調査への参加や内部精度管理の計画的実施により、検査精度の維持・向上に努めている。

また、毎年、中国四国厚生局による立ち入り検査が実施され、その際の指摘事項については速やかに改善措置を講じている。

3 食鳥検査事業

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、厚生労働大臣の指定検査機関として岡山県知事の委任を受け、県内の大規模食鳥処理場5施設（ブロイラー処理2施設、成鶏処理3施設）に、13名の検査員（獣医師）を派遣している。高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）をはじめ、鶏病の検査を実施し、検査不合格の食鳥の廃棄措置等、安全で安心な鶏肉の流通の確保に努めた。

(単位：千羽)

区分 \ 年度	平成24年度	平成25年度	増減 (%)
食鳥検査羽数	13,054	14,909	114.2

1) 検査概要

目的・・・疾病罹患食鳥肉を排除し、食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止する。

対象・・・県内の大規模食鳥処理場（年間30万羽を超えて処理する施設）5施設。

(内訳：ブロイラー処理2施設、成鶏処理3施設)

2) 実施状況

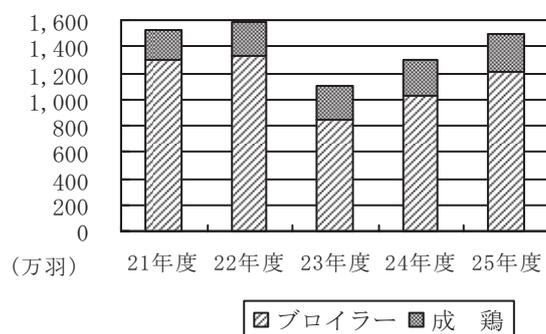
14,909,458羽の検査を実施し、前年度比114.2%であった。

内訳はブロイラー12,112,752羽（前年度比117.5%）、成鶏2,796,706羽（前年度比101.7%）であった。

① 検査羽数の年次推移

(羽)

年度	ブロイラー	成鶏	合計
21年度	12,990,191	2,303,022	15,293,213
22年度	13,319,483	2,463,452	15,782,935
23年度	8,411,892	2,609,795	11,021,687
24年度	10,305,701	2,748,679	13,054,380
25年度	12,112,752	2,796,706	14,909,458



② 検査実績

(平成25年度)

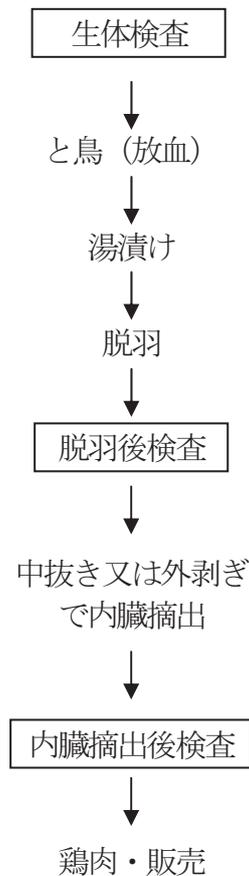
検査項目		廃棄区分			
		内臓摘出 禁 止	全部廃棄	一部廃棄	
疾病別 羽数 その他 の 疾 病	ウイルス・クラミジア類	高病原性鳥インフルエンザ			
		鳥インフルエンザ			
		鶏痘			
		伝染性気管支炎			
		伝染性喉頭気管炎			
		伝染性ファブリキウス嚢病			
		ニューカッスル病			
		鶏白血病			
		封入体肝炎			
		マレック病			
	その他				
	細菌症	鶏マイコプラズマ病			
		大腸菌症	4,172	39,784	
		伝染性コリーザ			
		サルモネラ病		2	
		鶏結核病			
		ブドウ球菌症	34	164	
	その他				
	毒血病	毒血病			
		膿毒症			
		敗血症	235	1,404	
		豚丹毒菌病			
		ロイコチトゾーン病			
		真菌症			
		原虫症（トキソ除）			
		寄生虫病			
		変性	4,595	29,721	24,743
		尿酸塩沈着症			
	水腫	水腫		4	513
		腹水症	1,657	30,961	
		出血	74	6,951	11,491
		炎症	2,083	12,603	195,285
		萎縮			
		腫瘍	11	4,172	5,183
		臓器の異常・色形臭等		2	5
		異常体温			
黄疸			16		
外傷		11	468	11,133	
中毒諸症	中毒諸症				
	削瘦・発育不良	13,303	19,958		
	放血不良		12,248		
	湯漬過度		819		
	その他		22,633	13	
	合計	26,175	181,910	248,366	
			456,451		

3) 検査方法

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、検査員（獣医師）が各処理場の従業員である食鳥処理衛生管理者と連携して検査を実施する。

4) 検査システム

鶏病の種類・程度等により「と鳥禁止」、「全部廃棄」、「一部廃棄」に分類し処理される。



高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の検査は、疑わしい場合に簡易検査キットを使用して検査する。

5) 法律上の位置づけ

厚生労働大臣の指定検査機関であり、また、岡山県知事の委任検査機関である。

4 附属病院

医療の提供

診療科は内科、呼吸器科、胃腸科、循環器科、放射線科、リハビリテーション科で、病床数126床で運営している。

呼吸器疾患の専門性を活かし、肺結核、慢性呼吸不全、気管支喘息、肺がんなどの治療に取り組むとともに、気管支鏡検査をはじめとした確定診断や治療法の選択を行い、他の医療機関からの患者紹介に対応している。

また、病院が行う健康診断や財団内の人間ドック部門・健康診断部門・健康増進部門との連携により、脳卒中、がん、心臓病、糖尿病などの生活習慣病の早期発見、早期治療に努めるとともに、禁煙指導にも重点を置いており、ニコチン依存から逃れるための禁煙外来や啓発のための講師派遣も行っている。

(1) 外来状況

1) 概要

内科全般を広く診療し、特に呼吸器疾患に対する専門医の適切な診断・治療に取り組んでいる。

また、生活習慣病の早期発見、早期治療のため健康診断を実施し予防医療に努めている。

診療時間：平 日 9：00～12：00 13：30～17：00
土曜日 9：00～12：00（健康診断は行っていない）

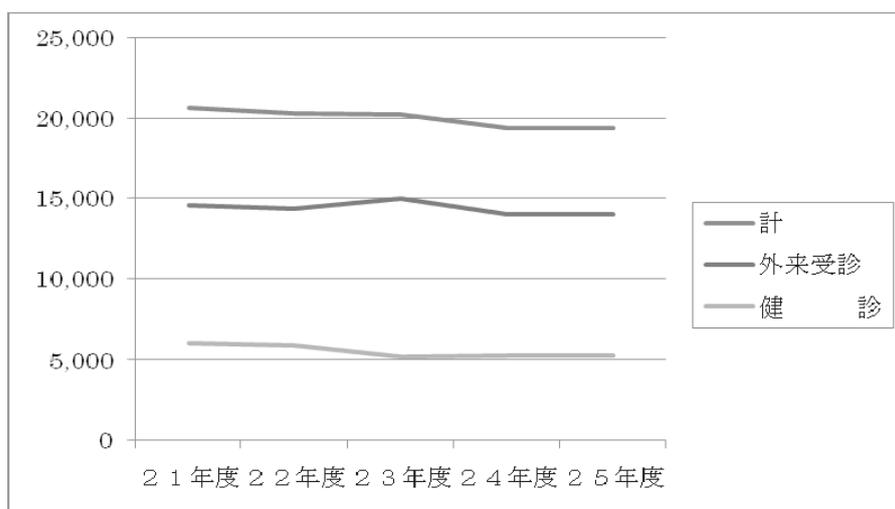
2) 状況

① 年度別外来受診・健診の状況

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
外来受診	14,615	14,387	15,016	14,044	13,652
健 診	6,070	5,935	5,250	5,334	4,780
計	20,685	20,322	20,266	19,378	18,432

(人)

② 外来患者年度推移



(2) 入院状況

1) 概要

呼吸器疾患の専門性や一般病棟と療養病棟の併設メリットを活かしながら、「信頼される医療の確保」、「心のかよう看護の推進」に取り組んでいる。

機能性と安全性を重視した医療設備により、専門的で人に優しい医療の提供を行っている。

病棟看護体制 結核46床 (内休止26床) 一般40床 療養40床
2交代制

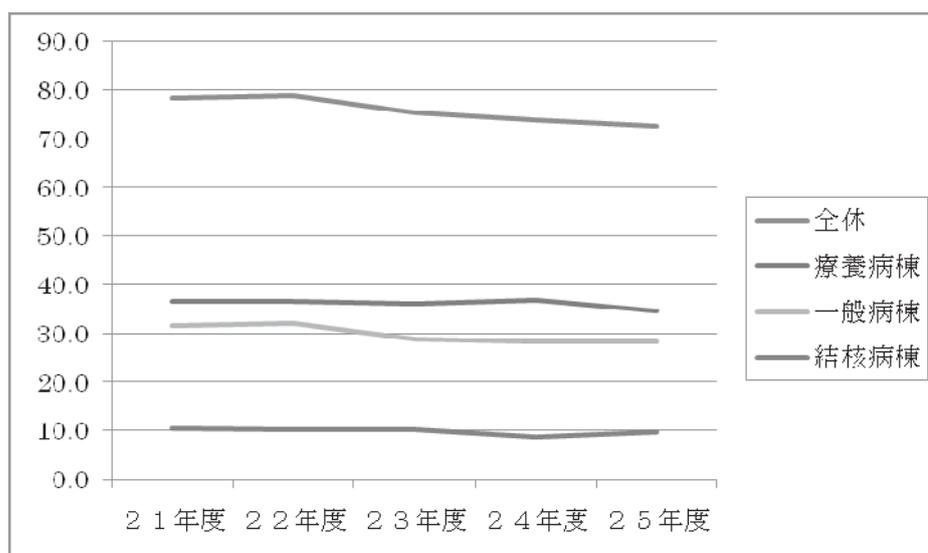
2) 状況

① 年度別入院患者の状況 (1日当たりの患者数)

(人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
結核病棟	10.4	10.1	10.2	8.6	9.7
一般病棟	31.4	32.0	28.9	28.3	28.4
療養病棟	36.7	36.8	36.2	37.0	34.6
全体	78.5	78.9	75.4	73.9	72.7

② 入院患者年度推移



(3) リハビリテーション

各種リハビリ機器を備えた訓練室と理学療法士による専門的リハビリにより、QOLを高めるとともに機能回復に努めている。

本院は、呼吸器の専門病院でもあるため、COPDなど呼吸器疾患の患者に呼吸方法の指導や運動療法など、在宅での自己管理についても指導している。

(4) 先進の医療機器による検査

早期発見、早期治療のため、電子内視鏡、超音波断層装置、CT、MRIを活用し、的確な診断のもとに治療を行っている。

(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供

医療安全委員会、感染予防対策委員会など各委員会の活性化を図り、安全・安心な医療サービスの提供に努めている。

また、高齢者にも食べやすく美味しいソフト食の提供など調理方法の工夫を行っている。

(6) 地域連携の推進

地域連携室を設け、地域の病院や診療所と連携し、紹介患者のスムーズな受け入れに努めており、入院患者の約7割が地域の病院・診療所からの紹介となっている。

また、開業医との連携を密にし、短期入院患者の受け入れに努めるとともに、平成22年度から退院支援調整室を設置し退院支援等を実施している。

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度
退院支援計画書作成件数	64	62	126	106
介護支援連携指導件数	85	72	94	80

(7) 結核医療連携拠点病院の指定

平成25年2月に岡山県から結核診療連携拠点病院に指定され、結核患者への高度医療提供、研修会の開催、医療機関からの相談等を行っている。

(8) 指導・相談

1) 医療相談

医療ソーシャルワーカーを中心に、入院相談や退院支援を行うとともに、地域医療機関や老健・介護保健施設との連携に努めている。

また、患者サポート体制の充実に取り組み、入院、外来患者の心理的・経済的な相談・支援に取り組んでいる。

2) 服薬指導

薬剤師が正しい薬の知識をわかりやすく説明している。また、症状にあった正しい服薬について指導を行っている。

3) 栄養指導

管理栄養士が個人の病状にあった、実行可能で長続きする食事療法の指導を行っている。

服薬・栄養指導件数

(件)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
服薬指導	680	623	585	558	545
栄養指導	172	218	353	339	381

(9) 財団各部門との連携

人間ドック、保健部、南部健康づくりセンターと連携し、地域住民の生活習慣病予防対策に取り組んでいる。

また、糖尿病教室を開催し、地域の方々の健康づくりに取り組んでいる。

	開催日	参加者数	講演内容
第3回	25. 7. 27	16人	・運動でメタボ予防 ・生活習慣病ってなに？生活習慣病と診断されたら
第4回	25. 11. 30	17人	・糖尿病の治療薬 ・糖尿病と食事療法
第5回	26. 3. 8	26人	・糖尿病で気を付けたい検査項目とその指標 ・気にしていますか？食品の油・脂肪・炭水化物

(10) 難病相談・支援事業

岡山県から「岡山県難病相談・支援センター業務」を受託し（平成16年10月～）、難病患者やその家族からの療養上の悩みや不安、就労等に関する相談に対応している。

相談件数

(件)

	21年度	22年度	23年度	23年度	25年度
電話相談	873	591	736	819	955
面接相談	193	167	182	196	199
メール相談	122	87	120	208	165
合計	1,188	845	1,038	1,223	1,319

交流会、研修会の開催

定例患者交流会等（平成22年度 29回、平成23年度 28回、
平成24年度 28回、平成25年度 29回）

(参考資料)

年度別外来受診・健診の状況

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,358	1,484	1,571	1,676	1,355	1,429	1,829	1,968	1,685	1,319	1,354	1,404	18,432
受診	1,139	1,137	1,108	1,198	1,003	1,060	1,246	1,189	1,240	1,127	1,063	1,142	13,652
健診	219	347	463	478	352	369	583	779	445	192	291	262	4,780

24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,366	1,603	1,720	1,611	1,567	1,554	1,971	2,084	1,723	1,396	1,394	1,389	19,378
受診	1,090	1,169	1,163	1,173	1,180	1,172	1,339	1,231	1,218	1,156	1,055	1,098	14,044
健診	276	434	557	438	387	382	632	853	505	240	339	291	5,334

23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,368	1,674	1,843	1,737	1,675	1,700	1,884	2,223	1,767	1,349	1,548	1,498	20,266
受診	1,119	1,256	1,287	1,265	1,253	1,248	1,318	1,361	1,316	1,170	1,246	1,177	15,016
健診	249	418	556	472	422	452	566	862	451	179	302	321	5,250

22年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,579	1,669	1,908	1,743	1,534	1,678	1,936	2,178	1,751	1,379	1,384	1,583	20,322
受診	1,172	1,161	1,183	1,247	1,114	1,231	1,333	1,272	1,214	1,103	1,096	1,261	14,387
健診	407	508	725	496	420	447	603	906	537	276	288	322	5,935

21年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,715	1,631	2,014	1,918	1,595	1,494	1,995	1,937	1,710	1,546	1,486	1,644	20,685
受診	1,276	1,110	1,324	1,329	1,164	1,198	1,264	1,219	1,135	1,183	1,145	1,268	14,615
健診	439	521	690	589	431	296	731	718	575	363	341	376	6,070

年度別入院患者数の状況

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	68.0	70.3	74.5	69.7	71.8	79.1	80.1	72.8	68.7	71.6	73.1	72.8	72.7
結核	6.2	6.7	10.8	10.7	9.1	12.1	12.0	12.0	8.6	11.0	9.4	7.5	9.7
一般	26.6	29.8	29.0	24.4	29.1	30.7	31.2	24.7	25.8	28.3	31.8	29.8	28.4
療養	35.2	33.8	34.7	34.6	33.6	36.3	36.9	36.1	34.3	32.3	31.9	35.5	34.6

24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	76.8	74.8	73.2	71.5	76.2	79.4	78.5	71.8	72.4	69.8	70.9	71.5	73.9
結核	8.6	8.4	9.2	8.8	12.3	11.4	12.5	7.5	6.3	5.7	6.1	6.4	8.6
一般	31.8	29.3	25.5	25.4	27.0	30.5	28.3	26.8	29.2	27.7	29.4	28.8	28.3
療養	36.4	37.1	38.5	37.4	36.9	37.5	37.7	37.5	36.9	36.4	35.4	36.4	37.0

23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	81.5	74.6	73.9	80.6	79.3	74.7	69.6	67.2	75.8	74.8	75.6	77.1	75.4
結核	11.8	11.0	11.1	14.4	12.8	9.1	8.7	7.5	8.5	9.0	10.0	8.9	10.2
一般	31.5	28.4	27.7	28.6	29.8	29.9	26.5	27.0	30.1	27.3	28.6	31.6	28.9
療養	38.2	35.2	35.1	37.6	36.7	35.6	34.4	32.8	37.2	38.5	37.0	36.5	36.2

22年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	76.5	79.5	80.1	82.8	81.0	81.0	74.9	73.6	76.1	77.4	80.2	83.6	78.9
結核	5.7	9.2	12.4	16.2	14.5	10.5	8.9	6.6	6.4	8.4	10.4	11.9	10.1
一般	34.7	33.9	31.9	30.9	30.5	32.6	29.7	29.7	32.1	31.9	32.6	33.0	32.0
療養	36.1	36.5	35.8	35.7	36.0	37.9	36.3	37.3	37.6	37.1	37.2	38.7	36.8

21年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	85.6	84.3	84.7	78.7	72.5	76.4	76.1	77.4	76.7	74.5	77.6	77.4	78.5
結核	14.0	15.1	13.5	12.1	10.1	9.9	10.2	10.4	7.2	6.0	9.0	7.4	10.4
一般	33.4	31.4	33.1	30.2	26.2	29.4	29.5	31.9	33.9	30.9	33.9	33.5	31.4
療養	38.3	37.8	38.1	36.5	36.2	37.0	36.4	35.2	35.6	37.5	34.7	36.5	36.7

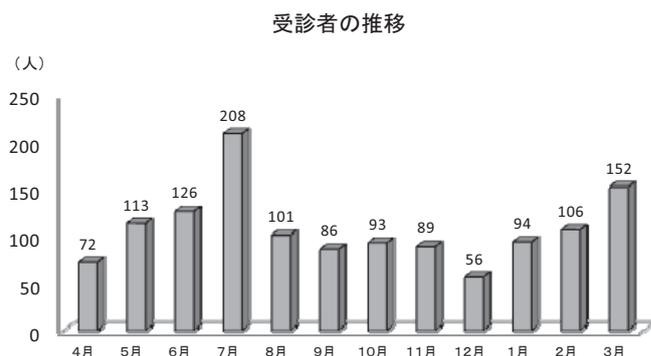
5 南部健康づくりセンター

(1) 健康増進部門

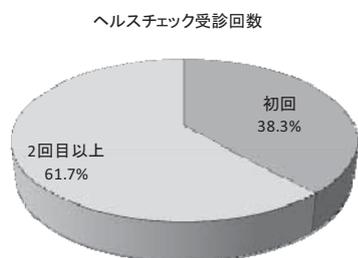
1. ヘルスチェックの状況

1) 受診者の推移

ヘルスチェック受診者は年間 1,296 人、1 ヶ月平均 108 人であった。前年度と比較すると、受診者数は 230 人の減少となった。

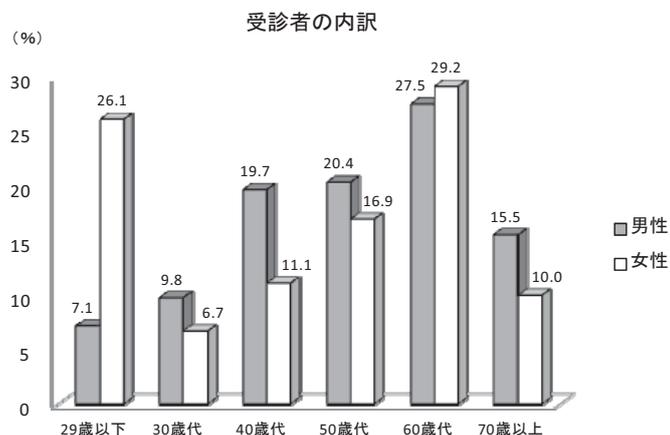


ヘルスチェックの受診回数は、初回が 38.3%、2 回目以上が 61.7%であった。

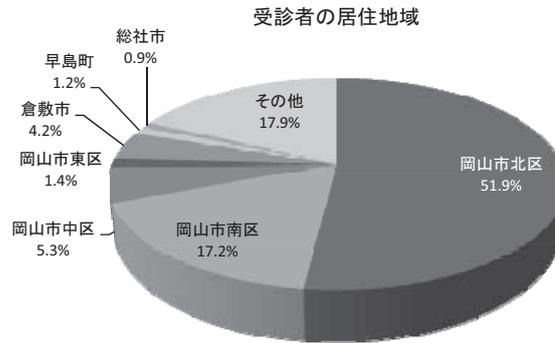


2) 受診者の内訳

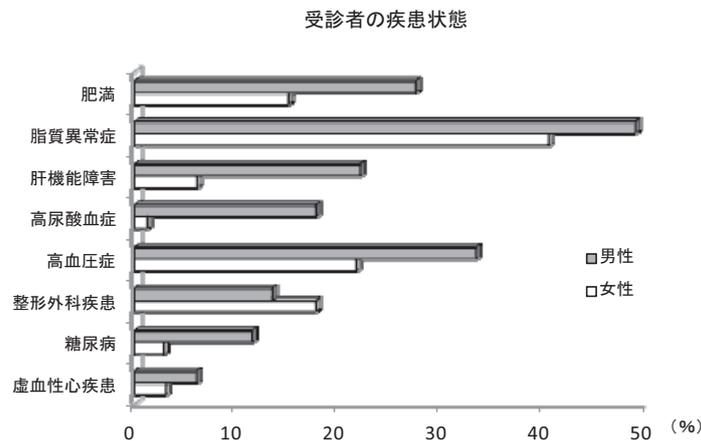
ヘルスチェック受診者の内訳を性別で見ると男性が 44.4%、女性が 55.6%であった。年代別で見ると男性、女性ともに 60 歳代が最も多かった。



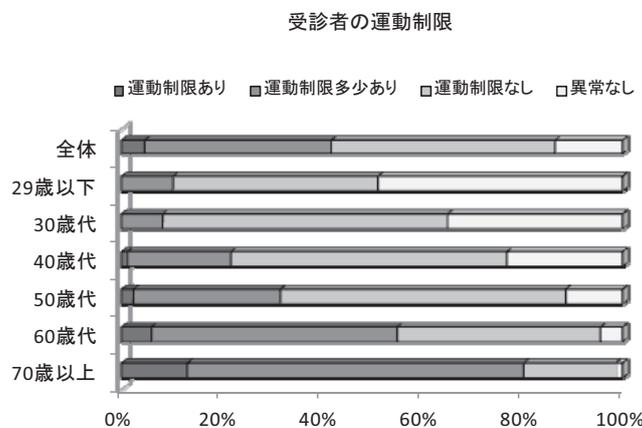
ヘルスチェック受診者の居住地域を市町村別にみると、全受診者のうち75.8%が岡山市に在住し、ついで倉敷市、早島町、総社市の順に多かった。



受診者の疾患状態をみると、男女ともに脂質異常症が最も多かった。男性では脂質異常症、高血圧症、肥満、肝機能障害の順で、女性では、脂質異常症、高血圧症、整形外科疾患、肥満の順で続いた。

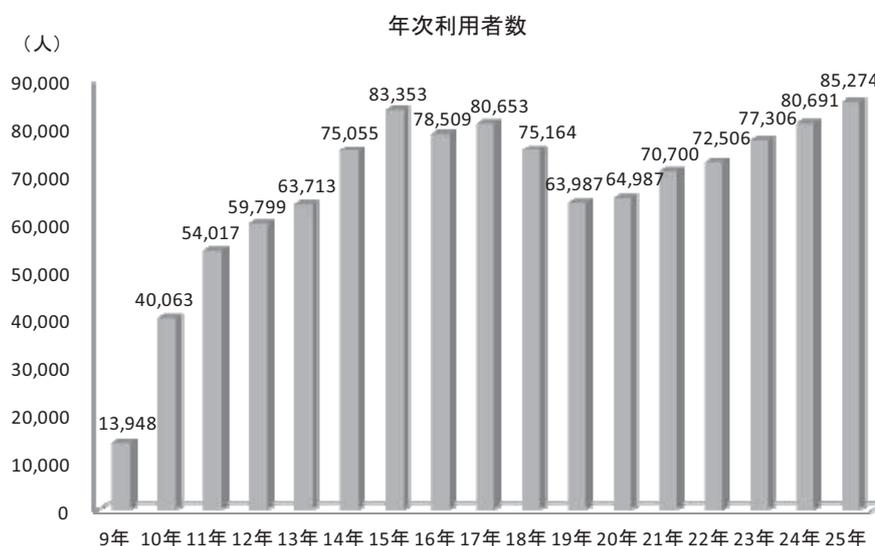
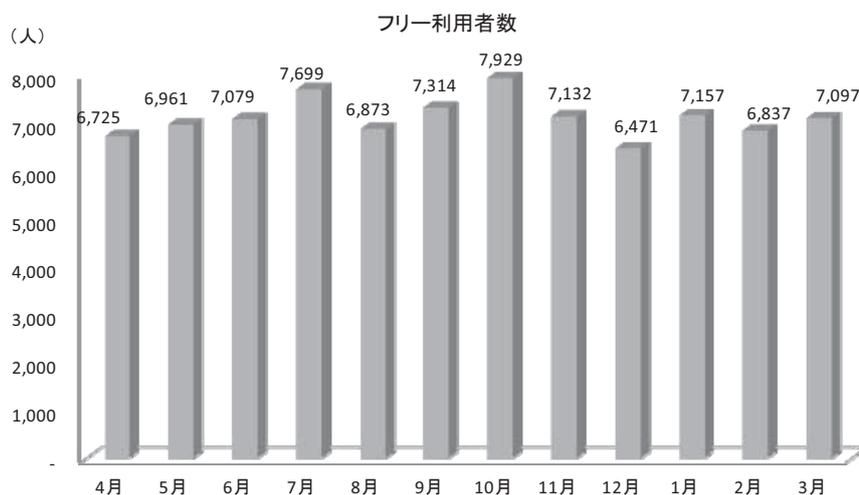


運動制限の程度をみると、何らかの運動制限のあった人は全体では41.8%であったが、60歳代では54.8%、70歳以上では80.1%であった。



2. 施設自由（フリー）利用状況

施設フリー利用者数は年間 85,274 人、1 ヶ月平均 7,106 人、1 日平均 281 人であった。前年度と比較すると、年間利用者数は 4,583 人の増加となった。



3. お手軽教室

1) 教室内容

平成 25 年度は、計 82 教室（平成 24 年度と同じ教室数）を開講した。

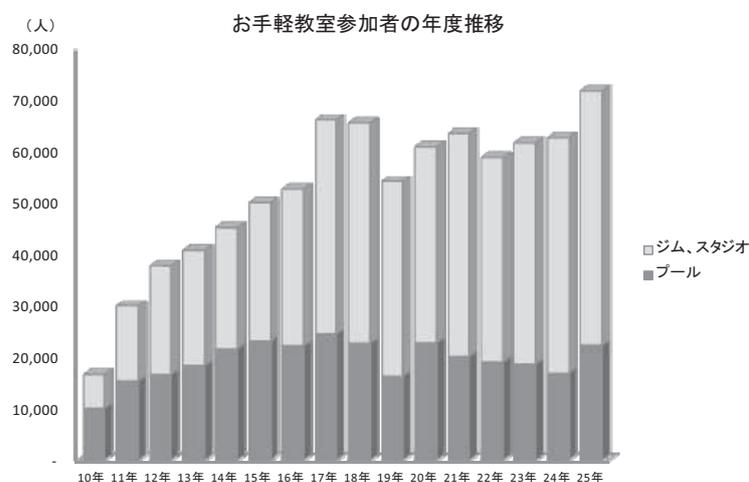
週あたりのお手軽教室開講数（平成 25 年 11 月現在）

水泳	超初級	1
	超初級、初級（クロール）	1
	初級（クロール）	1
	初級（週の泳法）	3
	初級（おまかせ）	1
	初中級（週の泳法）	1
	中級（クロール）	1
	中級（週の泳法）	2
	ステップアップ四泳法中上級	1
	レッツ四泳法中上級	1
	中上級（インターバル）	2
	中上級（週の泳法）	1
	上級（週の泳法）	3
	スキルアップ四泳法上級	1
水中運動	おまかせシェイプ	1
	膝腰ゆっくり水中運動	1
	膝腰スッキリ水中運動	1
	ひきしめ水中運動	1
	アクアサーキット	1
	アクアビクス	3
	エンジョイアクア	1
エアロビックダンス	フラエアロ	1
	かんたんエアロ	2
	やさしいエアロ	3
	ちょっとがんばるエアロ	3
	オリジナルエアロ	1
	エンジョイエアロ	1
	なかなかエアロ	3
	がんばるエアロ	2

ジム	ラジオ体操	2
	ゆっくりボール	1
	スッキリストレッチ	1
	肩スッキリ体操	1
	ダンベル体操	1
	スッキリ体操	1
	すわって健脚ストレッチ	1
	すわって健脚体操	1
	すわってスッキリ体操	1
	すわってルンルンビクス	1
	おまかせマット	1
	元気健脚サーキット	1
	やさしいステップ	1
	ステップ（初級）	1
	ひきしめステップ	1
	エンジョイステップ	1
	ノリノリステップ	1
	オリジナルステップ	1
	ひきしめボディ	2
シェイプサーキット	1	
太極拳	はじめての太極拳	1
	太極拳	1
その他	ストレッチポール	1
	マットオリジナル	1
	ストレッチヨガ	1
	オリジナルヨガ	1
	リフレッシュヨガ	1
	パワーヨガ	1
	シェイプヨガ	1
	はじめてピラティス	1
	ピラティス	1
	エンジョイフラ	1
	バレエボディケア	1
	インスピレボリユーション	2

2) 参加者の推移

お手軽教室の延べ参加者数は、71,648人で過去最高の参加者数であった。
プール教室の延べ参加者数は22,347人と、全体の約3割であった。



4. 健康実践講座

1) 健康セミナー

教室の内容

マラソン元日本代表の山口衛里コーチによるマラソンセミナーを開催した。経験者と初心者を対象とした、全5回のコースをそれぞれ1コース開催した。単発マラソンセミナーとして4回、単発ジョギングセミナーとして1回開催した。継続参加者が多くなったため、毎週開催することとし全8回のマラソンセミナーを3コース実施した。参加者数は、毎回ほぼ定員に達した。コースおよび単発のセミナーを合わせて、延べ163名の参加があった。

【コース開催】

ステップアップ♪マラソンセミナー

平成25年5月9日～7月4日(全5回) 19:20～20:30 隔週木曜日 17名

楽しく走ろう♪マラソンセミナー

平成25年5月16日～7月11日(全5回) 19:20～20:30 隔週木曜日 11名

マラソン大会で完走しよう♪マラソンセミナー

平成25年9月5日～10月24日(全8回) 19:20～20:30 毎週木曜日 25名

平成25年11月7日～12月26日(全8回) 19:20～20:30 毎週木曜日 24名

平成26年1月9日～2月27日(全8回) 19:20～20:30 毎週木曜日 24名

【単発開催】

♪エンジョイ♪マラソンセミナー

平成 25 年 7 月 25 日	19:20～20:30	木曜日	16 名
平成 25 年 8 月 8 日	19:20～20:30	木曜日	15 名
平成 25 年 8 月 22 日	19:20～20:30	木曜日	13 名
平成 26 年 3 月 13 日	19:20～20:30	木曜日	12 名

歩くことからはじめよう☆ジョギングセミナー

平成 25 年 9 月 4 日	14:00～15:00	水曜日	6 名
-----------------	-------------	-----	-----

2) 健康づくり栄養講座

調理実習と健康に関する講話により、正しい情報の提供と健康に関する知識の普及を行いながら食生活の改善を図るとともに、旬の食材の良さや季節の料理を伝える場として健康づくり栄養講座を開催した。また、パン作りの技術や目新しいおもてなしメニューを学ぶ場として外部講師による料理教室を開催した。

健康づくり栄養講座は、延べ 707 名の参加者があった。外部講師による料理教室「簡単おいしい手作りパン&料理教室」は、全 9 回の開催で延べ 138 人の参加があった。

健康づくり栄養講座

前期

実施日	テーマ	内容	参加人数(人)
平成25年4月17日	春の食材でイタリアン	脂質異常症予防の話	11
平成25年4月19日			7
平成25年5月15日	野菜たっぷり中華料理	高血圧予防の話	10
平成25年5月17日			13
平成25年6月5日	おもてなし日本料理	肥満予防の話	11
平成25年6月7日			13
平成25年7月17日	おうちで簡単フレンチ	骨粗鬆症予防の話	11
平成25年7月19日			15
平成25年8月21日	夏を乗り切るためのエスニック	夏バテ予防の話	11
平成25年8月23日			12
平成25年9月18日	秋の味覚で行楽弁当	貧血予防の話	10
平成25年9月20日			16
平成25年4月24日	センター食堂 ～おいしいヘルシー料理で健康UP～	炭水化物について	10
平成25年5月22日		たんぱく質について	6
平成25年6月12日		脂質について	8
平成25年7月24日		ビタミンについて	7
平成25年8月7日		ミネラルについて	7
平成25年9月25日		食物繊維について	8

実施日	テーマ	内容	参加人数（人）
平成25年4月10日	初心者のための栄養講座	基本の和食①	4
平成25年4月13日			8
平成25年5月8日		基本の中華①	6
平成25年5月25日			10
平成25年6月19日		基本の洋食①	6
平成25年6月22日			12
平成25年7月10日		基本の和食②	6
平成25年7月13日			11
平成25年8月3日		基本の中華②	6
平成25年8月28日			8
平成25年9月11日		基本の洋食②	6
平成25年9月14日			12
平成25年4月25日		簡単ヘルシースイーツ&ハーブティー	和菓子①&ハーブティー
平成25年5月9日	洋菓子①&ハーブティー		12
平成25年6月20日	野菜&果物のお菓子①&ハーブティー		14
平成25年7月11日	和菓子②&ハーブティー		16
平成25年8月8日	洋菓子②&ハーブティー		10
平成25年9月5日	野菜&果物のお菓子②&ハーブティー		14

後期

実施日	テーマ	内容	参加人数（人）
平成25年10月9日	かんたんイタリアン	アンチエイジングについて	17
平成25年10月16日			4
平成25年11月13日	クリスマス料理	風邪予防について	19
平成25年11月20日			11
平成25年12月11日	おせち料理	年末年始に太らないためには	21
平成25年12月18日			17
平成26年1月22日	野菜いっぱい韓国料理	糖尿病予防の話	14
平成26年1月29日			11
平成26年2月19日	薬膳料理	薬膳について	12
平成26年2月26日			11
平成26年3月12日	岡山の郷土料理	食の安全・安心	18
平成26年3月19日			6

実施日	テーマ	内容	参加人数 (人)	
平成25年10月19日	初心者のための栄養講座	基本の和食①	10	
平成25年10月23日			10	
平成25年11月2日		基本の中華①	11	
平成25年11月6日			11	
平成25年12月4日		基本の洋食①	8	
平成25年12月7日			12	
平成26年1月15日		基本の和食②	8	
平成26年1月25日			9	
平成26年2月5日		基本の中華②	6	
平成26年2月8日			5	
平成26年3月5日		基本の洋食②	5	
平成26年3月8日			13	
平成25年10月3日		簡単ヘルシースイーツ&ハーブティー	和菓子①&ハーブティー	15
平成25年11月7日			洋菓子①&ハーブティー	15
平成25年12月12日	野菜&果物のお菓子①&ハーブティー		12	
平成26年1月16日	和菓子②&ハーブティー		10	
平成26年2月6日	洋菓子②&ハーブティー		12	
平成26年3月6日	野菜&果物のお菓子②&ハーブティー			13

外部講師による料理教室

「簡単おいしい手作りパン&料理教室」

実施日	内容	参加人数 (人)
平成 25 年 5 月 24 日	ほうれん草のプチパン、緑色のフラン、カリカリのチキン、紅茶シフォン	13
平成 25 年 6 月 28 日	オレンジパン、パスタ料理、季節のデザート、ハーブティー	15
平成 25 年 7 月 26 日	マカロンパン、冷たいスープ、ワンプレートのアレンジ、ハーブティー	18
平成 25 年 9 月 27 日	ハーブのフォカッチャ、インゲン豆のトマトスープ、季節のサラダ、グレープフルーツのジュレ	13
平成 25 年 10 月 25 日	渦巻きアンパン、簡単エビのグラタン、季節のサラダ×手作り野菜ドレッシング	15
平成 25 年 11 月 22 日	キッシュ、ラスク、クリスマスプレート (ホームパーティーにむけて)	23
平成 26 年 1 月 24 日	フレンチトースト (卵・牛乳なし)、酵素ジュース、タコのガーリックソテー、酵素ドレッシングのサラダ、季節のデザート	15

実施日	内容	参加人数(人)
平成26年2月28日	黒ゴマのベーグル×BLT サンド、グリーンスムージー、お雛様ケーキ	13
平成26年3月28日	ブロッコリーとアンチョビのスコーン、人参のスコーン、キノコのワイン蒸し、カブと鶏肉のポタージュ、サツマイモと林檎のタルト	13

3) リラクゼーションセミナー

アロマセラピーのテーマで前期は8回、後期は3回実施した。

各セミナーとも90分間で、テーマに沿った講話やリラクゼーション実技を行った。

全11回の開催で、延べ51名の参加があったが、女性の参加が多く、年齢は20歳代～60歳代と幅広かった。

前期

実施日	テーマ	内容	参加者数(人)
平成25年4月18日	香りを使って春のやる気促進!!	アロマセラピーとは?	2
平成25年4月25日		香水作り	3
平成25年5月9日	肩こり、腰痛をアロマで癒す	肩こり、腰痛を緩和する精油の紹介	2
平成25年5月16日		マッサージオイル作り	4
平成25年6月13日	季節の香りを使って部屋を演出	ラベンダーリース作り	4
平成25年6月27日			5
平成25年7月11日	日焼け後の肌を精油でリセット	肌に効果的な精油の紹介 ボディミスト作り	5
平成25年9月5日	秋の夜長を光と香りで癒す	アロマキャンドル作り	5

後期

日時	テーマ	内容	参加者数(人)
平成25年10月19日	うるおいリップ作り	乾燥に役立つ精油について リップクリーム作り	7
平成25年11月2日	髪に香りとツヤを与える	頭皮や髪に効果的な精油や植物油について ヘアオイル作り	5
平成25年12月7日	ハーブで作るクリスマスリース	ハーブリース作り	9

4) 健康増進指導体験

年間の利用件数は6件、利用者数は99名であった。

開催日	参加団体名	コース	参加人数(人)
平成25年7月17日(木)	備中健康づくり応援団	運動	11
平成25年9月19日(木)	桜が丘西地区愛育委員会	運動	13
平成26年1月16日(木)	ひまわり園	運動	7
平成26年1月29日(水)	総社市愛育委員会	運動	26
平成26年2月12日(水)	倉敷市真備支所愛育委員会	休養	14
平成26年2月20日(木)	笠岡市愛育委員会	運動	28

(2) 教育・研修部門

1. 派遣事業

年間を通して58件の派遣依頼を受託した。

実施日	依頼先	会(題名)	内容	参加人数(人)	講師名
平成25年5月31日	テイカ瀬岡山工場	健康セミナー	食事で高血圧を予防しよう	18	豊田 加奈子
平成25年6月19日	久米町役場	平成25年度 第1回愛育栄養委員合同研修会	講演・実技「運動の必要性」	80	高槻 祐子
平成25年7月17日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	腰痛予防研修会	70	山下 裕絵
平成25年7月24日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	腰痛予防研修会	100	山下 裕絵 高槻 祐子
平成25年7月26日	特別養護老人ホーム 喜福園		腰痛予防体操	35	三原 早紀子
平成25年7月27日	岡山県健康づくり財団附属病院	第3回糖尿病教室	講演「運動でメタボ予防」	20	斉藤 剛
平成25年7月30日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	小中学校業務研修会 腰痛予防研修会	19	山下 裕絵
平成25年8月8日	岡山県難病相談支援センター	栄養講座	メタボリックシンドロームと食事	10	豊田 加奈子
平成25年8月20日	岡山県老人クラブ連合会	第3回健康づくり・介護予防リーダー養成講習会	高齢期の運動・高齢者の体力測定(実技を含む)	50	森下 明恵
平成25年8月28日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	腰痛予防研修会	50	山下 裕絵
平成25年8月30日	備前市	吉永地区愛育委員研修会	講和・実技「女性の健康づくり 骨粗しょう症と予防のための簡単運動の実践！」	15	斉藤 剛
平成25年9月10日	和気町	和気町健康教室	「高齢者の健康な体力づくりについて」	60	山下 裕絵
平成25年9月11日	公益財団法人 日本栄養士会	平成25年度特定保健指導担当 管理栄養士更新研修会	特定保健指導の実績について	40	沼田 健之
平成25年9月15日	岡山市大元学区体育協会	大元学区民体育祭	誰にもできるストレッチ	200	山下 裕絵
平成25年10月2日	赤磐市高陽地区愛育委員会	健康教室	ぐっすり眠ってリフレッシュ	40	後藤 礼子
平成25年10月4日	テイカ株式会社岡山工場	健康セミナー	バランスボールを使って体幹を鍛えよう	20	高槻 祐子
平成25年10月10日	赤磐市	運動教室	運動実践「ウォーキング教室」	30	森下 明恵
平成25年10月24日	地方職員共済組合岡山県支部	健康づくりチャレンジコンテスト2013	出前ウォーキング講座	25	斉藤 剛
平成25年10月30日	地方職員共済組合岡山県支部	健康づくりチャレンジコンテスト2013	出前ウォーキング講座	20	高槻 祐子
平成25年11月1日	備前市	善玉コレステロールを増やす教室	講話「善玉コレステロールを増やす運動の秘訣」 運動指導「運動を継続できるコツ」	20	斉藤 剛
平成25年11月4日	岡山県医師会	産業医研修会(特定検診・特定保健指導研修会)	「岡山県南部健康づくりセンターにおける食事運動療法の実践」(沼田) 「健康づくりのための運動療法」(森下)	330	沼田 健之 森下 明恵
平成25年11月5日	地方職員共済組合岡山県支部	健康づくりチャレンジコンテスト2013	出前ウォーキング講座	20	高槻 祐子
平成25年11月21日	瀬戸内市立牛窓東小学校	PTA研修	「アロマで安眠」	13	後藤 礼子
平成25年11月22日	公益社団法人 岡山看護協会	平成25年度『個人会員の集い』	簡単リフレッシュ体操	15	森下 明恵
平成25年11月27日	地方職員共済組合岡山県支部	健康づくりチャレンジコンテスト2013	出前ウォーキング講座	20	高槻 祐子
平成25年12月10日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	リラクゼーションセミナー(ヨガ)	60	高槻 祐子
平成25年12月25日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	腰痛予防講習会	50	高槻 祐子
平成26年1月16日	備前市	平成25年度『善玉コレステロールを増やす教室』	講話・運動指導「善玉コレステロールを増やす運動の秘訣」 「運動を継続できるコツ」	20	斉藤 剛
平成26年2月19日	備前市吉永地区老人クラブ連合会	健康体操講習会		45	森下 明恵
平成26年3月8日	岡山県健康づくり財団附属病院	第5回糖尿病教室	もっと知りたい!血液検査データの見方~知って得する数字のお話~	30	佐々木 佐起子

実施日	依頼先	会（題名）	内容	参加人数（人）	講師名	
平成25年5月15日	辰巳高齢者体操クラブ	高齢者健康づくり体操		15	三原 早紀子	
平成25年8月21日				15	高槻 祐子	
平成25年11月20日				15	山下 裕絵	
平成26年2月19日				15	高槻 祐子	
平成25年5月9日	公益財団法人 岡山県建設技術センター	出前健康教室	おいしく食べてメタボ予防	12	国橋 由美子	
平成25年5月16日				9	豊田 加奈子	
平成25年5月23日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	11	山下 裕絵
平成25年5月30日				ストレスとこころの健康	13	後藤 礼子
平成25年6月6日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	9	高槻 祐子
平成25年6月13日				おいしく食べてメタボ予防	8	国橋 由美子
平成25年6月13日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	10	三原 早紀子
平成25年6月20日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	24	山下 裕絵
平成25年6月27日				ストレスとこころの健康	21	後藤 礼子
平成25年7月4日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	18	高槻 祐子
平成25年9月5日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	7	三原 早紀子
平成25年9月19日				ストレスとこころの健康	8	後藤 礼子
平成25年9月26日				おいしく食べてメタボ予防	8	国橋 由美子
平成25年9月26日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	14	高槻 祐子
平成25年10月3日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	20	三原 早紀子
平成25年10月10日				おいしく食べてメタボ予防	6	豊田 加奈子
平成25年10月17日				ストレスとこころの健康	6	後藤 礼子
平成25年10月31日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	16	山下 裕絵
平成25年11月14日				ストレスとこころの健康	9	後藤 礼子
平成25年11月21日				おいしく食べてメタボ予防	9	国橋 由美子
平成25年12月5日				おいしく食べてメタボ予防	14	豊田 加奈子
平成25年12月12日				かんたん体力測定とリフレッシュ体操	2	高槻 祐子
平成26年1月28日				備前市	特定保健指導（積極的支援・動機付け支援）	講話と実技「やせる体操」
平成26年2月25日	15					

2. 図書資料室

一般書から専門書まで健康に関する図書約 5,300 冊、ビデオ約 50 本が閲覧できる。

平成 17 年 9 月から 3 階にある図書資料室より一般向けの図書、ビデオを一部おろし、1 階有料ゾーンに閲覧、貸し出しができるように書庫を配置した。それにより図書の閲覧が増え、貸し出し件数も増加した。貸し出しを受けた人数、貸し出された図書の冊数は、1 年間で 29 名、38 冊の利用があった。

3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室

1) 大会議室

貸し出し件数は、年間 26 件であった。

2) 小会議室

貸し出し件数は、年間 116 件であった。

3) 栄養指導室
貸し出し件数は、年間 32 件であった。

4) 多目的聴講室
貸し出し件数は、年間 13 件であった。

4. 研究室の開放

貸し出し件数は、年間 2 件であった。

(3) 調査・研究部門

1. 業績

1) 論文

ア Does cardiorespiratory fitness modify the association between birth weight and insulin resistance in adult life?
Tomoko Aoyama, Takeyuki Numata et.al (PLOS ONE 8: e73967, 2013.)

イ The relationship between serum interleukin-18 levels and physical activity in Japanese men
Kanae Oda, Takeshi Saito, Takeyuki Numata et.al (PLOS ONE 8: e81497, 2013.)

2) 学会発表

ア 日本人成人男女における出生時体重とインスリン抵抗性の関係
青山友子、沼田健之ほか（第 2 回日本 DOHaD 研究会年会、2013 年 11 月 17 日-20 日、東京都）

イ 日本人における喫煙と柔軟性との関連
織田かなえ、齊藤剛、沼田健之ほか（第 72 回日本体力医学会中国四国地方会、2013 年 11 月 9 日、10 日、米子市）

3) 研究助成

ア 健康づくりのための運動基準・運動指針改定ならびに普及・啓発に関する研究

主任研究者 宮地元彦（独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

分担研究者 沼田健之（岡山県南部健康づくりセンター）

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

イ 現在の健康状態に及ぼす出生時体重と出生後の生活習慣の影響

主任研究者 田中茂穂（独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

分担研究者 沼田健之（岡山県南部健康づくりセンター）

日本学術振興会 科学研究費補助金・特別研究員奨励費

(4) スポーツ医科学部門

1. 受診者数およびその内訳

ファジアーノ岡山（サッカー）が 41 人、興譲館高校（女子陸上部長距離）が 19 人の計 60 人が筋力測定を受けた。運動負荷試験は興譲館高校（女子陸上部長距離）の 6 人が測定を受けた。

(5) 健康診断（人間ドック）部門

1. 人間ドック

1) 受診者の内訳

年間で 8,448 件(男性 5,404 人、女性 2,995 人、計 8,399 人)の受診があり、前年度比 105.5%の受診者数となった。

2) 検査項目別

部位・臓器・検査方法別の検査結果を以下に示す。

なお、現在医療機関でそれぞれの検査項目に関して治療中か経過観察中のものを「治療中」とした。それ以外のもののうち、検査項目内の結果がすべて正常であったものを「異常なし」、いずれかの検査結果が正常範囲からはずれているが問題ない範囲のものを「有所見」、経過観察が必要なものを「要観察」、医療機関での精密検査あるいは治療を要するものをそれぞれ「要精検」「要治療」とした。

また、「異常なし」「有所見」以外のものをまとめて「要観察以上」、検診によって新たに医療を要することが指摘された「要精検」「要治療」をまとめて「要医療」とし、各検査項目の受診者全体に対する「要観察以上」「要医療」のものの割合を算出した。

① 肥満度

BMI18.5 未満を低体重、18.5 以上 25.0 未満を普通体重、25.0 以上 30.0 未満を肥満 1 度、30.0 以上 35.0 未満を肥満 2 度、35.0 以上 40.0 未満を肥満 3 度、40.0 以上を肥満 4 度とした。

肥満 1 度以上のものは男性 1,863 人 (34.6%)、女性 463 人 (17.2%) であった。

	受診者数	低体重	普通体重	肥満 1 度	肥満 2 度	肥満 3 度	肥満 4 度
		-18.49	18.5-24.9	25.0-29.9	30-34.9	35-39.9	40-
男性(人)	5378	158 (2.9%)	3357 (62.4%)	1554 (28.9%)	265 (4.9%)	37 (0.7%)	7 (0.1%)
女性(人)	2693	318 (11.8%)	1912 (71.0%)	369 (13.7%)	75 (2.8%)	16 (0.6%)	3 (0.1%)

② 血圧

収縮期血圧 134mmHg 以下、拡張期血圧 85mmHg 以下を正常値、収縮期血圧 139mmHg 以下、拡張期血圧 89mmHg 以下を参考基準値とし、「治療中」ではないもので収縮期血圧、拡張期血圧ともに正常値であるものを「異常なし」、いずれかが正常値を超えるものの参考基準値は超えないものを「有所見」とした。

男性の 1,550 人 (28.9%)、女性の 363 人 (13.6%) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 907 人 (16.9%)、女性 207 人 (7.7%)、「要医療」のものは男性 160 人 (3.0%)、女性 30 人 (1.1%) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5356	3256 (60.8%)	550 (10.3%)	483 (9.0%)	5 (0.1%)	155 (2.9%)	907 (16.9%)
女性(人)	2671	2139 (80.1%)	169 (6.3%)	126 (4.7%)	2 (0.1%)	28 (1.0%)	207 (7.7%)

③ 心電図

男性の 588 人 (11.0 %)、女性の 166 人 (6.2 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 141 人 (2.6 %)、女性 20 人 (0.8 %)、「要医療」のものは男性 65 人 (1.2 %)、女性 28 人 (1.1 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5346	4130 (77.3 %)	628 (11.7 %)	382 (7.1 %)	64 (1.2 %)	1 (0.0 %)	141 (2.6 %)
女性(人)	2664	2237 (84.0 %)	261 (9.8 %)	118 (4.4 %)	28 (1.1 %)	0 (0.0 %)	20 (0.8 %)

④ 検尿

男性の 863 人 (16.1 %)、女性の 928 人 (34.8 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 35 人 (0.7 %)、女性 15 人 (0.6 %)、「要医療」のものは男性 146 人 (2.7 %)、女性 107 人 (4.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5347	3452 (64.6 %)	1032 (19.3 %)	682 (12.8 %)	115 (2.2 %)	31 (0.6 %)	35 (0.7 %)
女性(人)	2664	1068 (40.1 %)	668 (25.1 %)	806 (30.3 %)	106 (4.0 %)	1 (0.0 %)	15 (0.6 %)

⑤ 肝機能

男性の 1,716 人 (32.1 %)、女性の 324 人 (12.2 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 126 人 (2.4 %)、女性 34 人 (1.3 %)、「要医療」のものは男性 310 人 (5.8 %)、女性 53 人 (2.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5347	2167 (40.5 %)	1464 (27.4 %)	1280 (23.9 %)	269 (5.0 %)	41 (0.8 %)	126 (2.4 %)
女性(人)	2664	1809 (67.9 %)	531 (19.9 %)	237 (8.9 %)	50 (1.9 %)	3 (0.1 %)	34 (1.3 %)

⑥ 脂質異常症

男性の 4,182 人 (78.2 %)、女性の 1,720 人 (64.6 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 677 人 (12.7 %)、女性 257 人 (9.6 %)、「要医療」のものは男性 471 人 (8.8 %)、女性 191 人 (7.2 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5348	1009 (18.9 %)	157 (2.9 %)	3034 (56.7 %)	0 (0.0 %)	471 (8.8 %)	677 (12.7 %)
女性(人)	2664	870 (32.7 %)	74 (2.8 %)	1272 (47.7 %)	0 (0.0 %)	191 (7.2 %)	257 (9.6 %)

⑦ 耐糖能異常

男性の 2,879 人 (53.8 %)、女性の 848 人 (31.8 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 420 人 (7.9 %)、女性 59 人 (2.2 %)、「要医療」のものは男性 205 人 (3.8 %)、女性 31 人 (1.2 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5348	2464 (46.1%)	5 (0.1%)	2254 (42.1%)	131 (2.4%)	74 (1.4%)	420 (7.9%)
女性(人)	2664	1816 (68.2%)	0 (0.0%)	758 (28.5%)	25 (0.9%)	6 (0.2%)	59 (2.2%)

⑧ 尿酸

男性の1,618人(30.3%)、女性の35人(1.3%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性339人(6.3%)、女性5人(0.2%)、「要医療」のものは男性280人(5.2%)、女性1人(0.0%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5347	3722 (69.6%)	7 (0.1%)	999 (18.7%)	0 (0.0%)	280 (5.2%)	339 (6.3%)
女性(人)	2664	2628 (98.6%)	1 (0.0%)	29 (1.1%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	5 (0.2%)

⑨ 血液一般

男性の566人(10.6%)、女性の440人(16.5%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性21人(0.4%)、女性48人(1.8%)、「要医療」のものは男性74人(1.4%)、女性120人(4.5%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5347	3577 (66.9%)	1204 (22.5%)	471 (8.8%)	58 (1.1%)	16 (0.3%)	21 (0.4%)
女性(人)	2664	1622 (60.9%)	602 (22.6%)	272 (10.2%)	20 (0.8%)	100 (3.8%)	48 (1.8%)

⑩ 超音波検査

腹部超音波検査により肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓等の検査を行った。

男性の2,144人(66.7%)、女性の744人(48.5%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性14人(0.4%)、女性9人(0.6%)、「要医療」のものは男性97人(3.0%)、女性30人(2.0%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	3216	780 (24.3%)	292 (9.1%)	2033 (63.2%)	97 (3.0%)	0 (0.0%)	14 (0.4%)
女性(人)	1533	616 (40.2%)	173 (11.3%)	705 (46.0%)	30 (2.0%)	0 (0.0%)	9 (0.6%)

⑪ 胸部X線検査

CR装置による直接撮影を行った。

男性の354人(6.6%)、女性の83人(3.1%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性57人(1.1%)、女性21人(0.8%)、「要医療」のものは男性142人(2.7%)、女性41人(1.6%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5340	4280 (80.1%)	706 (13.2%)	155 (2.9%)	141 (2.6%)	1 (0.0%)	57 (1.1%)
女性(人)	2636	2259 (85.7%)	294 (11.2%)	21 (0.8%)	40 (1.5%)	1 (0.0%)	21 (0.8%)

⑫ 胃部造影検査

DR 装置による直接撮影を行った。

男性の 2,174 人 (42.8%)、女性の 996 人 (41.8%) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 39 人 (0.8%)、女性 11 人 (0.5%)、「要医療」のものは男性 270 人 (5.3%)、女性 89 人 (3.7%) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5081	2618 (51.5%)	289 (5.7%)	1865 (36.7%)	258 (5.1%)	12 (0.2%)	39 (0.8%)
女性(人)	2380	1080 (45.4%)	304 (12.8%)	896 (37.6%)	87 (3.7%)	2 (0.1%)	11 (0.5%)

⑬ 骨密度検査

DXA 法により第 2～第 4 腰椎正面の骨密度を測定した。

男性の 10 人 (40.0%)、女性の 146 人 (65.5%) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 2 人 (8.0%)、女性 23 人 (10.3%)、「要医療」のものは男性 2 人 (8.0%)、女性 29 人 (13.0%) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	25	15 (60.0%)	0 (0.0%)	6 (24.0%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)
女性(人)	223	75 (33.6%)	2 (0.9%)	94 (42.2%)	29 (13.0%)	0 (0.0%)	23 (10.3%)

3) 婦人科検診

① 乳がん検診

乳がん検診として、視触診とマンモグラフィ、乳房超音波検査とを行った。

乳がん検診の総受診者数は 1,641 人であった。前年度に比べ 53 人の増加であり、乳がん検診の無料クーポン券配布による効果がまだ続いていると考えられた。また、マンモグラフィ受診者は 1,433 名であった。

乳がん検診受診者の 170 人 (10.4%) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは 13 人 (0.8%)、「要医療」のものは 109 人 (6.6%) であった。マンモグラフィも実施したものに限り、81 人 (5.7%) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは 4 人 (0.3%)、「要医療」のものは 62 人 (4.3%) であった。

乳がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1641	640 (39.0%)	831 (50.6%)	48 (2.9%)	109 (6.6%)	0 (0.0%)	13 (0.8%)
マンモグラフィ	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1433	524 (36.6%)	828 (57.8%)	15 (1.0%)	62 (4.3%)	0 (0.0%)	4 (0.3%)

② 子宮がん検診

子宮がん検診として、子宮頸部細胞診と婦人科診察、経膈超音波検査を行った。子宮頸部細胞診では class I、II を正常とし、class IIIa 以上を「要精検」とした。

子宮がん検診の受診者数は1,789人であった。

受診者の240人(13.4%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは16人(0.9%)、「要医療」のものは158人(8.8%)であった。また、子宮頸部細胞診でclassⅢa以上の「要精検」であったものは44人(2.5%)であった。

子宮がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1789	1549 (86.6%)	0 (0.0%)	66 (3.7%)	76 (4.2%)	82 (4.6%)	16 (0.9%)
細胞診	受診者数	class I	class II	class Ⅲa	class Ⅲb	class IV	class V
女性(人)	1789	1 (0.1%)	1744 (97.5%)	35 (2.0%)	8 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)

2. 脳ドック

脳ドックの受診者数は294人(男性206人、女性88人)であった。

男性の19人(9.2%)、女性の8人(9.1%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性1人(0.5%)、女性0人(0.0%)、「要医療」のものは男性4人(1.9%)、女性5人(5.7%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	206	95 (46.1%)	92 (44.7%)	14 (6.8%)	4 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
女性(人)	88	43 (48.9%)	37 (42.0%)	3 (3.4%)	5 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

3. らせんCT胸部検診

らせんCT胸部検診は、肺がんの早期発見に威力を発揮することが注目されて普及し、着実に受診者に浸透しつつある。今後も慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患の早期発見や、禁煙への動機づけにも有効であるため、普及啓発に今後とも力を注いでいくことが重要とされている。

らせんCT胸部検診の受診者数は231人(男性200人、女性31人)であった。

男性の40人(20.0%)、女性の5人(16.1%)が「要観察以上」であり、「要医療」のものは男性21人(10.5%)、女性3人(9.7%)であった。「治療中」のものはいなかった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	200	43 (21.5%)	117 (58.5%)	19 (9.5%)	21 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
女性(人)	31	5 (16.1%)	21 (67.7%)	2 (6.5%)	3 (9.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

6 普及啓発事業

(1) 財団の広報

ホームページの更新、広報誌の発行、他団体広報誌へ記事の提供等を通して、財団の広報に努めた。

1) 広報誌の発行

広報誌「健康と環境」を年4回発行し、事業の紹介と県民の健康づくり、環境保全に関する意識の高揚を図った。

- ・発行部数 第57号 15,000部 (4月30日発行)
第58号 15,000部 (7月31日発行)
第59号 15,000部 (10月31日発行)
第60号 15,000部 (1月31日発行)
- ・主要配布先 県、市町村、教育委員会、学校、警察署、保健所、近隣町内会、医師会、病院協会、福祉施設、事業所等

2) ホームページ更新

財団ホームページに、財団の事業紹介、健康情報・生活環境に関する情報提供、セミナーや教室の案内、各種行事の予定等を随時更新し、紹介した。

(2) 結核予防に関する事業

結核は、60年前までは、死亡原因の第一位であったが医療や生活水準の向上により、薬による完治が可能になった。しかし依然として岡山県においても年間300名前後の患者が発生する重大な感染症であることから啓発活動を行っている。

1) 広報・募金活動

結核予防思想の普及と事業資金確保のため世界中で行われている複十字シール運動 (8月1日～12月31日) について、県、市町村及び岡山県愛育委員連合会の協力を得て、積極的に普及啓発活動及び募金活動を実施した。また結核予防週間 (9月24日～30日) を中心に結核予防に関するポスター (4,100部) 等の広報資材を、保健所、市町村、病院等を通じて広く県民に配布し啓発に努めた。

期間中の大規模な街頭活動として、9月21日 JR倉敷駅北口及びアリオ倉敷において、県や市、岡山県愛育委員連合会、岡山県診療放射線技師会と共催で街頭キャンペーンを

行った。このキャンペーンでは、無料検診や結核撲滅の呼びかけを行うとともに、チラシ、ポケットティッシュ等の啓発資材（1,900組）を活用し募金を呼びかけた。

- ・募金額 2,748,720円（平成26年3月31日現在）
- ・募金の使途 胸部疾患予防思想の普及啓発事業

2) 知事表敬訪問

7月29日、全国一斉複十字シール運動開始にあたり、理事長が岡山県愛育委員連合会長とともに、知事を表敬訪問し運動への理解と協力を要請した。

(3) がん予防に関する事業

1) 「岡山対がんシンポジウム2013」の開催

5月19日、ピュアリティまきびにおいて岡山県・岡山県医師会・岡山県愛育委員連合会との共催で、「あなたとあなたの大切な家族を守るために～女性のがんの克服をめざして～」をテーマに、岡山対がんシンポジウム2013を111名の参加のもと開催した。

2) 「がん征圧岡山県大会」の開催

9月2日、岡山衛生会館において岡山県、県医師会と共催で、「がん検診 いつ受けるの？今でしょ！！」をスローガンに、がん征圧岡山県大会を開催した。約600名の参加を得て、がん予防事業功労者への表彰や研究助成金の贈呈、がんやがん検診に関するシンポジウムなどがん予防に関する啓発活動を行った。

3) キャンペーン放送の実施

がん征圧月間中を中心に、テレビ・ラジオ放送において広報活動を行った。

4) 募金

がん予防を推進するために協力を呼びかけ、696件3,414,195円の募金等を頂いた。

(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）

1) 街頭キャンペーンの実施

5月31日の世界禁煙デーに、岡山駅、津山駅等で、県・市町村職員、愛育委員、禁煙アドバイザー等の協力を得て街頭活動を行い、啓発チラシ（21,201枚）、ポケットティッシュ（22,261個）を配布し、禁煙を呼びかけた。

2) ポスターコンクールの開催

県下の小学校4年生～6年生を対象に、禁煙啓発ポスターコンクールの作品を募集した。10校から140点の応募作品があり、入賞者8名を9月のがん征圧岡山県大会で表彰した。入賞作品を掲載したカレンダー（2,800枚）を作成し、県、市町村、県警及び県下の学校等関係機関へ配布した。

3) 講師の派遣

教育機関、一般企業等で開催された禁煙に関する研修等に、医師を講師として派遣し禁煙の啓発に努めた。

4) 教材等の貸出

たばこの害についてのチラシの配布や、スモーカーライザーを貸し出し、教育機関や一般企業独自の啓発活動を支援した。

5) 募金

禁煙普及啓発を推進するために、当協議会に360件507,000円の募金を頂いた。

6) 健康寿命長期化モデル事業

岡山県が運営するモデル事業に参加し、喫煙による健康被害について普及啓発を行った。

- ・9月のがん征圧月間にあわせ、岡山駅構内において禁煙啓発ティッシュ及びがん予防啓発チラシを配布し、禁煙推進とがん検診の受診を呼びかけた。
- ・岡山県健康づくり財団の広報活動の一環として、県内の放課後児童クラブにおいて出前講座を実施し、たばこに関する普及啓発も同時に行った。
- ・県下の小学生から募集し表彰された過去5年分の優秀ポスター（毎年8点）を展示場に一斉展示し、禁煙の普及啓発を行った。
- ・受動喫煙の防止対策を実施している施設、飲食店の情報を閲覧できるようHP内に

リンクを設定し、県外客や観光客など多くの方に禁煙・分煙施設の情報を提供することができた。

- ・禁煙普及啓発のため、幟を作成し南部健康づくりセンターにて設置し、来館者への禁煙推進を呼びかけた。

(5) 「健康おかやま21」への参加

生活習慣病改善による健康づくりの推進を目的としており、またメタボリックシンドロームに注目があてられている中、生活習慣病予防の普及に努めた。

(6) 助成事業

1) がん助成

がんに関する研究・研修事業に対して対がん基金による助成を行った。

- ・内分泌療法抵抗性乳癌細胞に対するオーロラAキナーゼ阻害剤の有効性に関する研究
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻分子遺伝学分野
准教授 片山 博志 氏

- ・真庭市内中学生の尿中ピロリ菌抗体測定ならびにピロリ菌感染者に対する
除菌療法（胃がん一次予防）に関する研究
真庭市医師会
会 長 本山 雄三 氏

- ・子宮頸癌の前癌状態に対する薬物治療
川崎医科大学産婦人科学1
講 師 村田 卓也 氏

2) 健康づくり関係団体への助成

県民の健康づくりを推進している、岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会等の関係団体に助成を行った。

(7) 会議等の開催

区 分	開催 年月日	会 場	議 題
会計監査	H25. 5. 22	岡山県南部健康づくりセンター 小会議室	1. 平成24年度決算について
会計・業務監査	H25. 5. 29	岡山県南部健康づくりセンター 研修室2	1. 平成24年度事業実績について 2. 平成24年度決算について
第1回理事会	H25. 6. 14	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成24年度各事業実施及び収支決算 について
定時評議員会	H25. 6. 28	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成24年度各事業実施及び収支決算 について 2. 評議員の選任について 3. 理事の選任について
臨時理事会	H25. 6. 28	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 理事長（代表理事）の選定
第2回理事会	H26. 3. 27	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成26年度各事業計画及び収支予算案 について

事業年報 平成25年度

発行 公益財団法人 岡山県健康づくり財団
〒700-0952 岡山市北区平田408-1
TEL 086-246-6254 FAX 086-246-6285
E-mail : zaidan@okakenko.jp